

# 消防年報

平成 30 年版

南但消防本部

# は し が き

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び平成 29 年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、平成 30 年 4 月 1 日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

また、平成 24 年度以前の統計については養父市消防本部、朝来市消防本部の合算により作成しています。

平成 30 年 6 月

南但消防本部



南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
消防本部・消防署所の概要	3
南但消防本部組織・階級別職員配置状況	4
消防車両一覧	5
沿革	6
平成 29 年度中の主要行事	1 2
おもな出来事	1 4
一目統計	1 6

## 【概要編】

管理	1 8
予防	1 9
災害活動の概要	
火災	2 0
救急	2 2
救助	2 4
通信	2 6

## 【統計資料編】

### 管理編

平成 29 年度予算状況	2 9
平成 29 年度職員給与費等の実態	2 9
階級別勤続年数	3 0
年齢別職員構成	3 0
研修派遣状況	3 1
階級別資格取得状況	3 2
平成 28 年度一般会計決算の概要	3 3
消防相互応援協定等の締結状況	3 4

### 予防編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）	3 6
防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）	3 7
確認申請処理状況	3 8
消防教室実施状況	3 8
危険物施設数及び立入検査回数	3 9
危険物施設設置許可数及び変更許可の状況	3 9
市別・数量別危険物施設数	4 0
市別・類別危険物施設数	4 0
各種届出等受理状況	4 1

## 警防編

### 火災

年次別火災発生状況	4 3
月別火災発生状況	4 5
曜日別火災発生状況	4 5
時間別火災発生状況	4 6
使用した消防水利	4 6
覚知から現場到着までの所要時間	4 7
放水開始から鎮火までの所要時間	4 7
出火原因	4 8
用途別火災発生状況	4 9

### 救急

年次別救急発生状況	5 0
月別救急発生状況	5 1
曜日別救急発生状況	5 2
時間別救急発生状況	5 3
覚知から現場到着までの所要時間状況	5 4
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	5 4
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	5 5
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	5 5
事故種別・収容医療機関状況	5 6
地域別・収容医療機関状況	5 6
救急隊の行った応急処置状況	5 7
普通救命講習実施状況	5 7

### 救助

年次別救助発生状況	5 8
月別救助発生状況	5 9
曜日別救助発生状況	6 0
時間別救助発生状況	6 1
事故種別・傷病程度別状況	6 2

### 通信

気象の状況	6 3
-------	-----

### 装備

消防用機器の配置状況	6 4
------------	-----

### 各種団体

消防団組織図	6 6
協力団体組織図	6 7

# 南但消防本部の概要

## 1 位置と地勢

南但消防本部のある南但馬地域は兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号線及び427号線が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号線が南北に通っています。また、国道312号線に沿って播但連絡道路とJR播但線が通っており、さらに国道9号線に沿ってJR山陰線が通っています。平成29年3月に北近畿豊岡自動車道の八鹿氷ノ山IC～日高神鍋高原IC間が開通するなど、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

河川は、市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり、兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め、鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、さらに、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。

平成29年4月28日、文化庁により地域の歴史遺産や文化財の魅力を伝えるストーリーを認定する「日本遺産」に、養父市・朝来市を含む6市町共同で申請した『播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道』が正式に認定されました。



## 2 管轄人口と世帯数

市町名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km <sup>2</sup> )
養父市	24,044	9,469	422.91
朝来市	30,848	12,326	403.06
合計	54,892	21,795	825.97

H30.3.31 現在住民基本台帳人口による

## 構成市の概要

### 養父市

「響きあう心 世界へ拓く <sup>ゆい</sup>結の郷 やぶ」



【市章】

三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】 ミズバショウ

【市木】 ブナ

#### 【主な産業・経済】

大根、朝倉山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

#### 【観光・文化・歴史】

氷ノ山（兵庫県最高峰）、天滝（日本の滝100選）

明延鉱山、ハチ高原、名草神社三重塔

全日本ビバホールチェロコンクール



【養父市イメージキャラクター】

やっぴー

### 朝来市

「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」



【市章】

朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】 さくら

【市木】 けやき

#### 【主な産業・経済】

金属製品製造業、金属バネ工業、岩津ねぎ

#### 【観光・文化・歴史】

竹田城跡（日本100名城）、茶すり山古墳（近畿最大円墳）

生野銀山及び鉱山町の文化的景観、白井大町藤公園

神子畑鉄橋（日本最古の全鉄橋）



【朝来市マスコットキャラクター】

ちゃすりん

# 消防本部・消防署の概要

## 消防本部・消防署

### 南但消防本部・朝来消防署

- 【住所】朝来市和田山町枚田436番地の1
- 【建築年月】昭和51年12月（平成16年9月耐震化工事完了）  
（平成28年9月駐車場修繕工事完了）
- 【敷地面積】2,651.4㎡
- 【構造】鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造



## 消防署

### 養父消防署

- 【住所】養父市八鹿町高柳173番地
- 【建築年月】昭和53年12月（平成26年12月耐震化工事完了）
- 【敷地面積】1,368.81㎡
- 【構造】鉄筋コンクリート造2階建



## 出張所

### 朝来消防署生野出張所

- 【住所】朝来市生野町口銀谷222番地の1
- 【建築年月】昭和52年11月
- 【敷地面積】585.55㎡
- 【構造】鉄筋コンクリート造2階建



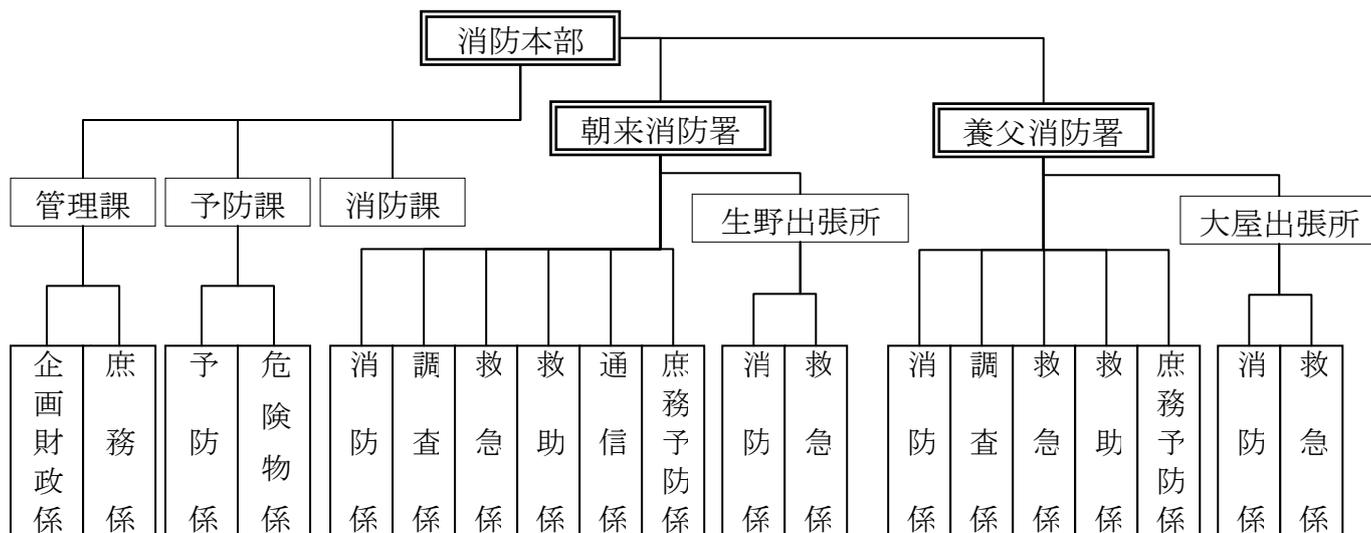
### 養父消防署大屋出張所

- 【住所】養父市大屋町樽見549番地
- 【建築年月】昭和54年12月  
（平成26年8月耐震化（事務所棟建替）工事完了）
- 【敷地面積】751.93㎡
- 【構造】鉄骨造2階建



# 南 但 消 防 本 部 組 織

H30. 4. 1現在



## 階 級 別 職 員 配 置 状 況

H30. 4. 1現在

区 分		消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長 消 防 士	計
消防本部	消 防 長	1					1
	次 長		1				1
	管 理 課		2	2	1	6	11
	予 防 課		5	1	2	2	10
	消 防 課		7	4			11
朝来消防署	署 長		(1)				(1)
	副 署 長		1 (2)				1 (2)
	庶務予防係		(1)	(3)	(2)	(3)	(9)
	第 一 部		(3)	3 (3)	1 (1)	5 (1)	9 (8)
	第 二 部		1 (2)	3 (3)	1 (1)	5 (1)	10 (7)
	生野出張所 所長		1				1
	生野出張所 第一部		(1)	1	1	2	4 (1)
生野出張所 第二部			3	1	1	5	
養父消防署	署 長		1				1
	副 署 長		(1)				(1)
	庶務予防係		(3)	1	1	1	3 (3)
	第 一 部		3	5	1 (1)	1 (1)	10 (2)
	第 二 部		2 (1)	4 (1)	1	3	10 (2)
	大屋出張所 所長		1				1
	大屋出張所 第一部		(1)	1	1	2	4 (1)
大屋出張所 第二部			3	1	1	5	
計		1	25 (16)	31 (10)	12 (5)	29 (6)	98 (37)

※ ( ) は兼務職員を示す。

# 消防車両一覧

(平成30年3月31日現在)

	種 別	メーカー	導入年度	経過年数	エンジン	
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成15年度	14年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	日野	平成15年度	14年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車15m級	日野	平成28年度	1年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成29年度	一年	ディーゼル
	5	高規格救急車	トヨタ	平成21年度	8年	ガソリン
	6	高規格救急車	トヨタ	平成24年度	5年	ガソリン
	7	高規格救急車	トヨタ	平成29年度	一年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	平成19年度	10年	ガソリン
	9	指揮支援車	日産	平成21年度	8年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年度	6年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年度	8年	-
	12	司令車	ホンダ	平成21年度	8年	ハイブリット
生野出張所	13	水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A型	三菱	平成14年度	15年	ディーゼル
	14	高規格救急車	トヨタ	平成26年度	3年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年度	5年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年度	7年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	三菱	平成15年度	14年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年度	11年	ディーゼル
	4	高規格救急車	トヨタ	平成25年度	4年	ガソリン
	5	高規格救急車	トヨタ	平成22年度	7年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年度	10年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年度	8年	ガソリン
	8	司令車	トヨタ	平成25年度	4年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	トヨタ	平成23年度	6年	ディーゼル
	10	高規格救急車	トヨタ	平成20年度	9年	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年度	4年	ガソリン

# 沿 革

## 1 南但消防本部

年 月	記 事
平成25年 4月	南但消防本部発足（記念式典及び消防本部旗授与式挙行4/1） 消防吏員4名を採用（条例定数98名） 県下広域を含めて各消防応援協定を締結（詳細は34頁に掲載）
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「NANTAN119だより」創刊号を発行
11月	公用車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備
平成26年 1月	南但消防本部として初めての出初式挙行
3月	大屋出張所耐震化工事着手 朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催
4月	消防吏員7名を採用（条例定数98名）
5月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
6月	消防救急デジタル無線工事着手 消防職団員参集メールシステム運用開始
8月	大屋出張所耐震化工事完了
11月	消防センター改修工事
12月	養父消防署耐震化工事完了
平成27年 1月	阪神淡路大震災20年メモリアル訓練実施（南但消防本部） 高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備
4月	消防吏員7名（うち1名、初の女性消防吏員）を採用（条例定数98名）
12月	女性消防職員仮眠室完成
平成28年 1月	消防救急デジタル無線試験運用開始
4月	消防救急デジタル無線正式運用開始 消防吏員5名を採用（条例定数98名） 熊本地震緊急消防援助隊派遣（4/16～4/22 救急小隊、後方支援隊 延べ 12名を派遣）
8月	第45回全国消防救助技術大会に南但消防本部として初出場
9月	朝来消防署アスファルト舗装修繕工事完了
11月	15mはしご付消防自動車を更新し朝来署に配備
平成29年 4月	消防吏員2名（うち1名、初の女性救急救命士）を採用（条例定数98名）
9月	養父市住宅密集地火災防ぎょ訓練
11月	第26回全国救急隊員シンポジウム事例発表（千葉市）
12月	第6回全国消防職員剣道大会：女子個人の部第3位

## 2 旧朝来市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和51年 4月	朝来郡広域消防事務組合消防本部（署）を設置（新規採用18名を含む20名で消防業務開始） 神戸市消防局から救急車（1B型）を借用
5月	救急車（デリカ）を配備（和田山ライオンズクラブから寄贈）
9月	消防ポンプ自動車（BD-I型）を配備、小型動力ポンプ付積載車（B2級ポンプ積載）を配備

昭和51年	10月	初任科研修を修了した消防士15名を配置し、消防業務全般を開始
	12月	和田山町枚田436番地1に消防本部庁舎竣工、移転 救急車(2B型)を配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和52年	1月	消防用無線電話開局
	4月	消防吏員14名を採用
	6月	県道山東・柏原線の遠阪トンネル開通に際し、氷上郡青垣町と応援協定を締結
	9月	査察広報車を配備
	10月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備
	11月	生野町口銀谷222番地1に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員9名を配置、消防ポンプ自動車(BD-I型)及び救急車(デリカ)を配備し消防業務開始
昭和53年	1月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
	4月	消防吏員9名を採用(条例定数43名)。消防専用電話119番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
	12月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-B型)を本署に配備
昭和54年	3月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和55年	2月	救急車(2B型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
	4月	中播消防事務組合と応援協定を締結
	11月	広報誌「119だより」創刊号を発行
	12月	救急指令装置C型を整備
昭和56年	4月	兵庫県救急医療情報システムを導入
	8月	第10回全国消防救助技術大会に初出場
昭和57年	2月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
	8月	第11回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
昭和58年	6月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得(4/22)、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
	8月	第12回全国消防救助技術大会に3年連続で出場。氷上郡広域行政事務組合と応援協定を締結
	12月	宍粟広域消防事務組合と応援協定を締結
昭和59年	2月	北但広域消防事務組合と応援協定を締結
	3月	西脇市多可郡消防事務組合と応援協定を締結
	8月	救急車(2B型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)。福知山市と応援協定を締結。 第13回全国消防救助技術大会に4年連続出場
昭和60年	1月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和61年	6月	河川情報システムを運用開始
	8月	第15回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
昭和62年	8月	第16回全国消防救助技術大会に2年連続出場
	9月	救急車(2B型)を更新し本署に配備(兵庫県共済農業共同組合連合会から寄贈)
昭和63年	2月	救助工作車(I型)を本署に配備
	8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結
平成元年	2月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)を整備し、出張所に配備
	9月	査察広報車を更新
	10月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-B型)を更新し本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
平成2年	3月	消防訓練塔(15m主訓練塔及び補助訓練塔)が完成
	4月	緊急通報システム運用開始
	8月	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し本署に配備
	10月	第38回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成3年	4月	救急救命士法成立

平成 3年	8月	救急車（2B型）を更新し出張所に配備（日本消防協会から寄贈）
	9月	台風19号来襲、朝来郡内各地に被害
平成 4年	3月	兵庫県道路公社、姫路市、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定締結。兵庫県道路公社、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防無線設備及び通信施設に関する協定締結
	9月	生野町オフトーク放送運用開始
平成 5年	4月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
平成 6年	2月	消防緊急通信指令施設運用開始
	4月	救急救命士養成所に職員1名を初めて派遣（神戸市 前期）
	11月	高圧ガス等の移譲事務取扱開始
平成 7年	1月	兵庫県南部地震発生（1/17、M7.3）、神戸市灘消防署に応援隊派遣（延べ12日間、32名、11台）
	3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備
	4月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成 8年	3月	15mはしご付消防自動車を整備し本署に配備
	6月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」に変更。消防本部発足20周年記念式典挙行
	9月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結
	10月	兵庫県消防防災航空隊発足
平成 9年	1月	ロシア船籍「ナホトカ号」座礁に伴う流出油回収へ応援出動（～1/25）
	3月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を挙行
	6月	山東町防災行政無線システム開局 播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得（4/15）。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成10年	4月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
平成11年	2月	兵庫県道路公社、氷上郡広域行政事務組合と遠阪トンネル有料道路における消防無線等に関する協定締結
	8月	第28回全国消防救助技術大会に12年ぶりに出場
平成12年	5月	播但連絡道路開通
	8月	第29回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
平成13年	7月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
	9月	救助工作車を更新し本署に配備（Ⅱ型に更新）
平成14年	3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
	4月	和田山町及び朝来町のCATV開局
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新し、生野出張所に配備
平成15年	7月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を整備し本署に配備 消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新し本署に配備
	8月	第32回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場
平成16年	4月	兵庫県ドクターヘリ運用開始、兵庫県・神戸市消防防災ヘリコプター共同運航開始
	7月	福井豪雨災害に緊急消防援助隊を派遣
	8月	気管挿管認定救命士誕生。台風16号来襲、管内各地で被害発生
	9月	消防本部庁舎耐震化工事完了
	10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大（管内救助人員66名） 兵庫県下広域応援出動要請により、豊岡市に救助隊を派遣。兵庫県下広域消防相互応援隊及び緊急消防援助隊の基地本部に指定され、県下応援隊（100隊）及び緊急消防援助隊（大阪府他計139隊）対応を北但広域消防本部に代わり但馬代表代行消防本部として行う 高規格救急自動車を更新し、出張所に配備

平成17年	3月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
	4月	朝来市消防本部誕生、(朝来郡4町が合併し朝来市が誕生)
		尼崎市 J R 福知山線列車事故災害に兵庫県消防相互応援協定に基づき救急隊を派遣
	11月	携帯電話からの 119 番通報を直接受信開始
平成18年	3月	薬剤投与認定救命士誕生
	7月	北近畿豊岡自動車道(春日～和田山間) 開通
	8月	第35回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場
	12月	第9回全国消防広報コンクールで広報紙の部で優秀賞受賞
平成19年	2月	高機能消防指令センター運用開始
	6月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/24)。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
	8月	第36回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
	10月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
	12月	第10回全国消防広報コンクールで広報紙の部で入賞
平成20年	8月	第37回全国消防救助技術大会に3年連続で出場 自動体外式除細動器(AED)設置施設公表制度開始
平成21年	10月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
	12月	指揮支援車を本署に配備
平成22年	4月	ドクターヘリ運航開始
	12月	ドクターカー運行開始
平成23年	3月	東北地方太平洋沖地震発生(3/11、M9.0)
	3月～4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計16名派遣)
	8月	消防広域化協議会発足式開催
平成24年	6月	消防救急デジタル無線基本設計・電波伝搬調査実施
	8月	第41回全国消防救助技術大会に4年ぶりに出場 養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
	11月	指揮支援車を更新し出張所に配備
平成25年	3月	朝来市消防本部を閉庁

### 3 旧養父市消防本部の沿革

年	月	記	事
昭和53年	4月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部(署)を設置(新規採用19名を含む24名で消防業務開始)	
	5月	査察広報車を配備	
	8月	救急車(2B型)2台を配備(八鹿病院及び日本船舶振興会から寄贈)	
	9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)及び司令車を配備	
	10月	初任研修を修了した消防士18名を配置し、消防業務全般を開始	
	11月	化学消防自動車(II型)を配備	
	12月	八鹿町高柳173番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話119番・農協有線電話0119番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局	
昭和54年	4月	消防吏員7名を採用	
昭和54年	6月	救急車(2B型)を配備(日産自動車から寄贈)	
	9月	小型動力ポンプ付積載車を配備(日本船舶振興会から寄贈)	
	12月	大屋町樽見549番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員8名を配置、小型動力ポンプ付積載車及び救急車(2B型)、広報車(大屋ライオンズクラブから寄贈)を配備し消防業務開始	

昭和55年	3月	八鹿町高柳 313-10 番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置
	4月	消防吏員 5 名を採用（条例定数 35 名）
	6月	養父町建屋婦人防火クラブ結成
昭和56年	5月	救助工作車（I 型）を本署に配備
	8月	消防本部書庫及び車庫増築
	11月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成
	12月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立
昭和57年	2月	朝来郡広域消防事務組合と応援協定締結
	3月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成
	4月	養父郡消防本部発足 5 周年記念式典挙行
	6月	大屋町婦人防火クラブ結成
	8月	消防訓練場に水防倉庫完成
昭和58年	7月	宍粟広域消防事務組合と応援協定締結
	8月	美方郡広域消防事務組合と応援協定締結
	9月	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を本署に配備（日本損害保険協会から寄贈）
昭和59年	2月	北但広域消防事務組合と応援協定締結
	5月	査察広報車を更新し本署に配備
	11月	防火広報車を更新し本署に配備（日本防火協会から寄贈）
昭和60年	10月	救急車（2B 型）を本署に配備（兵庫県農業共済連合会から寄贈）
昭和61年	1月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成
昭和62年	4月	公用車を本署に配備
昭和63年	2月	広域消防応援体制充実のため消防用無線全国波を増設
	4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足 10 周年記念式典挙行
	8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結。本署に救急消毒室整備 林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
	10月	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を更新し出張所に配備
	11月	司令車を更新し本署に配備
平成 元年	8月	出張所に救急消毒室を整備
	10月	救急車（2B 型）を出張所に配備（日本消防協会から寄贈）
平成 3年	2月	救助工作車（I 型）を更新し本署に配備
	10月	緊急通報システム運用開始
平成 4年	1月	査察広報車を更新し本署に配備
	11月	救急車（2B 型）を本署に配備（日本消防協会から寄贈）
	12月	化学消防車（II 型）を更新し本署に配備
平成 5年	4月	兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
	10月	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を本署に配備（日本損害保険協会から寄贈）
	11月	救急車（2B 型）を本署に配備（養父郡農業協同組合から寄贈）
平成 6年	7月	査察広報車を更新し出張所に配備
	11月	防火広報車更新
平成 7年	1月	兵庫県南部地震発生、神戸市灘消防署に応援隊派遣（1/17、延べ 11 日間、33 名、11 台）
	10月	救命士養成所に職員 1 名を初めて派遣（財団九州研修所 後期）
平成 8年	9月	兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム導入
平成 9年	3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備（日本自動車工業会から寄贈）
	7月	公用車を更新し本署に配備
平成10年	6月	養父郡消防本部発足 20 周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
	12月	冬山搜索装備品整備

平成11年	6月	高規格救急自動車（4WD）を整備し出張所に配備
平成12年	12月	緊急通報システムセンター装置更新
平成13年	12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成14年	10月	司令車を更新し出張所に配備
平成15年	3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
	6月	災害対応特殊高規格救急自動車（4WD）を本署に配備
	8月	第32回全国消防救助技術大会に初出場
	12月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新し出張所に配備
平成16年	3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
	4月	養父市消防本部誕生（養父郡4町が合併し養父市が誕生）
	8月	第33回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
	10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大、県下広域応援出動要請により豊岡市に救助隊を派遣
平成17年	4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
	8月	第34回全国消防救助技術大会に3年連続で出場
	9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
	11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成19年	1月	救助工作車（II型）を更新し本署に配備
	8月	第36回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
	12月	八鹿ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）を寄贈され署所に配備
平成20年	3月	査察広報車を更新し本署に配備（JAたじま・JA共済連兵庫から寄贈）
	7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年	2月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
	9月	防火広報車を更新し本署に配備
	11月	携帯・IP電話位置情報システム運用開始
平成22年	3月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
	4月	ドクターヘリ運航開始
	12月	ドクターカー運行開始、化学消防ポンプ自動車を更新し本署に配備
平成23年	3月	東北地方太平洋沖地震発生（M9.0）
	3月～4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣（兵庫県隊、但馬ブロック隊として計14名派遣）
	8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
	9月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新し本署に配備
	10月	ドクターカー・ドクターヘリとの併用運行開始
	12月	鳥取県東部広域行政管理組合と応援協定を締結
平成24年	8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式（8/22）
平成25年	3月	養父市消防本部を閉庁

# 平成 29 年度中の主要行事

月	日	内 容
4月	1日	山火事防止月間（～4/30）
4月	2日	養父市消防大会（於：八鹿文化会館）、朝来市消防大会（於：和田山ジュピターホール）
4月	3日	南但消防本部辞令交付式（職員採用者2名）
4月	5日	兵庫県消防学校「初任科」2名入校（卒業式9/27）
4月	14日	南但危険物安全協会理事会（於：和田山ホテル）
4月	16日	養父市消防団新入団員訓練（於：養父消防署）
4月	23日	消防ふれあい祭り（於：イオン和田山店）
4月	24日	第1回消防関係機関連絡会（於：南但消防本部）
5月	1日	ドクターカー24時間運行開始
5月	8日	救助隊特別訓練（～7/21）
5月	19日	朝来市自主防災推進協議会役員会（於：南但消防本部）
5月	21日	全但消防協議会総会（於：豊岡市出石）
5月	24日	南但危険物安全協会総会（於：和田山ジュピターホール）
5月	25日	甲種防火管理新規講習（5/25, 26）
5月	26日	養父市幼少年婦人防火委員会総会（於：養父消防署）
5月	29日	水防連絡会（於：中播磨県民センター） 養父市・朝来市トライやるウィーク（～6/2）
5月	30日	水防連絡会（於：養父土木事務所）
6月	4日	危険物安全週間（～6/10） 第1回ドクターヘリ症例検討会（於：南但消防本部）
6月	12日	水難救助訓練（6/12, 13 於：山東町金浦調整池） 指導救命士養成研修（～6/23）
6月	18日	養父市水防工法訓練（於：養父地域局前大屋川河川敷）
6月	19日	第1回ドローン研修会（於：南但消防本部）
6月	22日	但馬県民局合同防災パトロール 陸上自衛隊第3特科隊第1中隊CSRM研修（於：養父消防署）
6月	26日	養父市婦人防火クラブ総会（於：養父公民館）
6月	29日	朝来市自主防災推進協議会総会（於：和田山ジュピターホール）
7月	11日	急流救助訓練（7/11, 12 於：八鹿町小田井堰）
7月	22日	第46回消防救助技術近畿地区指導会（於：兵庫県防災センター）
8月	1日	第2回ドローン研修会（於：南但消防本部）
8月	3日	朝来市生野支団合同訓練（於：朝来バイオマス発電所）
8月	24日	養父警察署合同訓練（於：養父警察署） 福祉村合同訓練（於：和田山特別支援学校）
8月	25日	兵庫県消防防災航空隊合同山岳救助訓練（於：表米神社登山道）
8月	30日	防災週間（～9/5）
9月	1日	救急救命士養成課程（～3/15）
9月	3日	養父市・朝来市一斉避難訓練 救急医療週間（～9/10）
9月	4日	朝来警察署合同救助訓練（於：朝来警察署）
9月	13日	但馬MC協議会合同救急訓練（於：豊岡市消防本部）
9月	22日	防火ポスター審査会（於：南但消防本部）

月 日	内 容
10月 1日	救助訓練強化月間（～10/31）
10月 2日	兵庫県消防学校「救助科」入校（～10/31）
10月 5日	兵庫県消防学校「予防査察科」入校（～10/18）
10月12日	危険物施設防火研修会（於：南但消防本部）
10月17日	和田山高校就業体験（～10/19） 第2回ドクターヘリ症例検討会（於：南但消防本部）
10月19日	第2回消防関係機関連絡会議（於：南但消防本部）
10月24日	緊急車両指導員養成研修（10/24, 25 於：はりま交通研修センター）
10月28日	豊岡病院集団災害医療訓練（於：豊岡病院）
10月30日	兵庫県消防防災航空隊合同山岳訓練（於：妙見山）
11月 1日	救急強化月間（～11/30） 緊急車両運転者特別研修（11/1, 2 於：はりま交通研修センター）
11月 2日	南但危険物安全協会視察研修（於：大阪府）
11月 3日	朝来ふれあい元気まつり（於：朝来支所）
11月 4日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（11/4, 5 於：大阪府堺市）
11月 5日	朝来市消防団山東支団合同訓練（於：緑風の郷）
11月 6日	J R列車事故対応合同訓練（於：J R和田山駅構内） 兵庫県消防学校「火災調査科」入校（11/17）、「初級幹部科」（～11/17）
11月 8日	養父消防署、朝来消防署一日消防官
11月 9日	秋季全国火災予防運動（～11/15） 朝来市消防団和田山支団夜間消防合同訓練（於：和田山町高田区）
11月12日	養父市密集地火災防ぎょ訓練（於：養父市広谷区）
11月13日	養父市独り暮らし・老人世帯防火訪問（於：関宮方面、11/20 於：大屋方面、11/21 於：八鹿方面、11/28 於：養父方面）
11月14日	旅館・ホテル防火研修会（於：南但消防本部）
11月18日	八鹿病院集団災害医療訓練（於：八鹿病院）
11月19日	朝来市消防団研修（幹部研修 於：さんとう緑風ホール、新入団員・女性消防団員 於：南但消防本部） 消防ふれあい祭り（於：養父市Yタウン）
11月21日	第26回全国救急隊員シンポジウム事例発表（於：千葉市）
11月27日	朝来市消防団生野支団・和田山支団独り暮らし高齢者防火訪問（於：生野町、12/17 於：和田山町） 兵庫県消防学校「特殊災害科」入校（～12/8）
12月 1日	消防訓練強化期間（～12/15）
12月 5日	第6回全国消防職員剣道大会（於：東京都）
12月12日	兵庫県消防学校「災害現場指揮科」入校（～12/14）
12月15日	年末年始特別警戒（前期 12/15～12/24、後期 12/25～1/3）
1月12日	平成30年消防出初式（於：南但消防本部）
1月19日	朝来署高規格救急自動車更新
1月21日	朝来市文化財消防訓練（於：赤淵神社）
1月28日	文化財防火デー訓練（於：大屋町加保 ビックラボ）
2月 2日	但馬救助技術研究会（於：豊岡市消防本部）
2月15日	第14回近畿消防職員駆伝大会（於：大阪市）
2月25日	朝来市密集地火災防ぎょ訓練（於：生野町口銀谷区）
3月 1日	春季全国火災予防運動（～3/7）
3月 4日	養父市消防団関宮方面隊合同訓練（於：まんの湯）
3月 6日	病院・社会福祉施設防火研修会（於：南但消防本部）
3月22日	朝来署救助工作車Ⅱ型更新

## ～ おもな出来事 ～



**南但消防本部辞令交付式**（4月3日 消防本部）

4月から新しく2名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。1日でも早く市民から信頼される消防士になることを誓いました。



**トライやるウィーク**（5月29日～6月2日）

和田山、朝来、八鹿青溪、大屋、関宮中学の2年生10名が参加し、敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などの訓練にトライしました。



**消防ふれあい祭り**

（4月23日 イオン和田山ショッピングセンター）

（11月19日 養父市Yタウン）

昨年に引き続き養父市、朝来市内で消防ふれあい祭りを開催しました。多くのご来場ありがとうございました。



**ドローン研修**（6月19日、8月1日）

朝来市和田山町の㈱コスモより講師をお招きし、シュミレーターを活用した疑似体験訓練や屋外で実機を使用したドローンの活用法を見学しました。実際に触れ、災害現場での活用方法を思い描くことができました。



**自衛隊CSR訓練**（6月22日）

養父署の訓練場にて、姫路から来られた陸上自衛隊にCSR（狭隘閉鎖空間における救助活動）訓練の指導を行いました。



**第46回消防救助技術近畿地区指導会**（7月22日）

兵庫県と大阪府内の各消防本部から、消防本部の代表として選考された救助隊員が全国大会出場を目指し、日頃の訓練の成果を披露しました。

## ～ おもな出来事 ～



**山岳救助訓練**（8月25日 表米神社登山道）  
表米神社登山道にて、登山者が滑落し負傷したとの想定で、兵庫県消防防災ヘリと合同訓練を実施しました。



**JR列車事故対応合同訓練**（11月6日 JR和田山駅）  
消防本部、JR西日本、朝来警察、八鹿病院（DMAT）、朝来医療センターとの連携強化を図るため、列車事故を想定した合同訓練を実施しました。



**養父市密集地火災防御訓練**（11月12日）  
新潟県糸魚川市火災や城崎温泉街火災を教訓に大規模な住宅密集地火災防御訓練を実施しました。訓練を通して、地区住民と関係機関の更なる連携強化を図ることができました。



**第26回全国救急隊員シンポジウム**（11月22日）  
千葉県で行われた全国救急隊員シンポジウムに南但消防本部の代表として、藤原佑也司令補が「ドクターヘリとの連携が生んだ重症交通外傷からの完全救命」について発表しました。



**消防出初式**（1月12日 消防本部）  
南但消防本部発足5周年を迎えました。今年は童和こども園の皆さんをお招きし、演技と防火の誓いを披露していただきました。また、訓練では士気の高さを示しました。



**救急車・救助工作車車両更新**  
（救急車1月19日、救助工作車3月22日納車）  
今年度2台の車両を更新しました。県下初のバス型救助工作車を導入し、充実した資器材と併せてこれまでより厳しい現場での活動能力が向上しました。

# 一目統計

構成市町	面積	人口	世帯数
2市	825.97km <sup>2</sup>	54,892人	21,795世帯
養父市 朝来市	養父市422.91km <sup>2</sup> 朝来市403.06km <sup>2</sup>	養父市 24,044人 朝来市 30,848人	養父市 9,469世帯 朝来市 12,326世帯

予算	組織	職員数	消防団員数
1,004,346千円	消防本部 1 消防署 2 出張所 2	98名	2,269名 養父市 1,277名 朝来市 992名

防火対象物	危険物施設	防火団体	
3,095棟 養父市1,468棟 朝来市1,627棟	322施設 養父市 163施設 朝来市 159施設	朝来市自主防災推進協議会 421会員 地域会員159会員 事業所会員256会員 賛助会員6会員	養父市幼年婦人防火委員会 618名 少年消防クラブ 73名 幼年消防クラブ 445名 婦人防火クラブ 100名

火災	救急	救助	その他
20件  【出火原因】 ①不明 ②焼却火 ③放火(放火の疑い) ストーブ	出動件数 3,144件 搬送人員 2,854名  【事故種別】 ①急病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数 67件 救助人員 44名  【事故種別】 ①交通事故 ②水難事故 ③建物等による事故	出動件数 1,038件  【種別】 ①へり支援 828件 ②救急支援 153件 ③その他 57件

通信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救急車
119番総受信回数 3,598回 緊急通報受信回数 2,836回	タンク車 2台 ポンプ車 3台	はしご車 1台 救助工作車 2台 化学車 1台	高規格救急車 6台

# 概要編

## 凡例

統計中の符号等の用法は、次のとおりです。

「0」 ……該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「△」 ……負数

「(空白)」 ……該当なし

# 管 理

## 1 平成29年度消防行政の推進

近年、社会経済の発展に伴う生活環境等の変化で、災害形態も大きく変化し多種多様化しています。平成28年に新潟県糸魚川市において発生した火災は、密集していた140棟を超える建物を焼損する大規模火災で、酒田大火以来40年ぶりの市街地大規模火災となりました。兵庫県内においても、平成27年に豊岡市の城崎温泉街火災、平成29年に明石市の大蔵市場火災が発生しており、密集地での大規模火災への対応が課題となっています。

当本部はこれらの火災を教訓に「住宅密集地警戒計画」を策定し、これを基に密集地での大規模火災を想定した「住宅密集地火災防御訓練」を実施しました。



今後も多種多様化する各種の災害に対応すべく、消防団などの各関係機関との連携強化を図り、消防力の充実強化に努めます。

なお、「地域の安全・安心を守る」という基本理念の基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 防火対象物・危険物施設の防火安全体制、自主防災体制の強化
- (2) 住宅防火対策及び災害弱者対策の推進
- (3) 災害現場対応力の向上
- (4) 活力ある職場づくり

## 2 平成29年度当初予算



平成29年度当初予算の総額は1,004,346千円で前年と比較すると36,371千円の増となっています。このうち人件費は756,438千円で歳出予算総額の75.3%を占めています。

また、消防施設や資機材などを整備する消防施設整備事業費は163,033千円で16.2%を占め、前年と比較すると45,519千円の増となっています。

主な事業として、朝来消防署救助工作車及び高規格救急車の更新を行いました。

# 予 防

## 1 防火対象物の状況

平成 29 年度末の防火対象物は総数 3,095 棟で、市別では養父市 1,468 棟、朝来市 1,627 棟となっています。用途別では「その他の事業所」が 711 棟と最も多く約 23%を占めており、続いて「工場等」(499 棟)、「共同住宅等」(331 棟)となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は 751 件(棟数)で、防火安全上の不備欠陥事項がある対象物の関係者に対し改修等を指導しています。

## 2 危険物施設の状況

平成 29 年度末の危険物施設数は総数 322 施設で、市別では養父市 163 施設、朝来市 159 施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が 100 施設と最も多く約 31%を占めており、続いて「一般取扱所」(60 施設)、「給油取扱所」(51 施設)となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査回数は 248 回で、全施設の約 77%に実施し、危険物施設が技術上の基準に適合し、適切に維持管理されるよう指導しています。

## 3 自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした自主防災組織の育成に協力しています。



養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「養父市幼少年婦人防火委員会」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。

(左) 消防出初式での幼年消防クラブによる演技

(下) 朝来市自主防災推進協議会での防災講演会の様子

また、朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への活動助成を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。



# 火 災

平成 29 年中の出火件数は 20 件で、前年(29 件)と比較すると 9 件の減少となっています。

火災種別でみると、建物火災が 14 件、林野火災が 1 件、車両火災が 1 件、その他の火災が 4 件となっています。

地域別の発生状況をみると、朝来市内の出火件数は 10 件で、その内訳は、建物火災が 6 件、林野火災が 1 件、車両火災が 1 件、その他の火災が 2 件となっています。

養父市内の出火件数は 10 件で、その内訳は、建物火災が 8 件、その他の火災が 2 件となっています。

火災の損害は 80,592 千円で、前年と比較すると 53,360 千円増額しています。

死傷者をみると、建物火災で負傷者が 6 名、その他の火災で死者が 1 名、負傷者が 2 名発生しています。



## 火災の状況

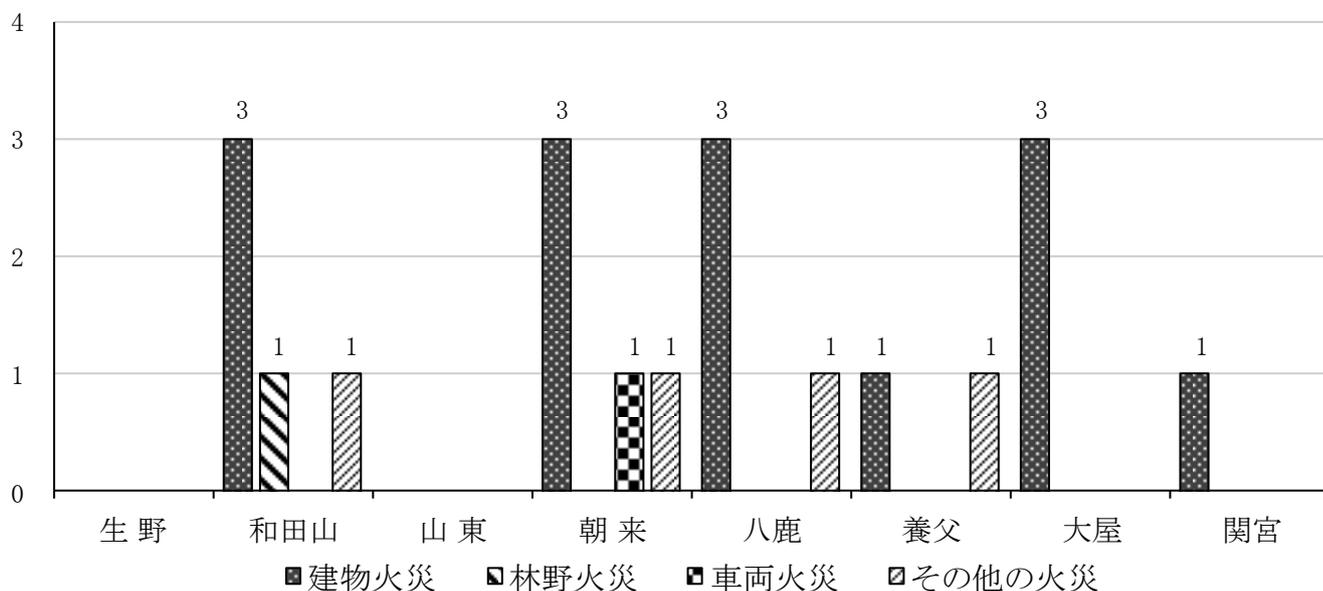
区 分		平成 29 年	平成 28 年	比較増減
出火件数	総 数	20	29	△9
	建 物 火 災	14	9	5
	林 野 火 災	1	2	△1
	車 両 火 災	1	3	△2
	そ の 他 の 火 災	4	15	△11
焼損棟数	総 数	17	10	7
	全 焼	5	3	2
	半 焼	1		1
	部 分 焼	4	2	2
	ぼ や	7	5	2
焼損面積	建 物 ( m <sup>2</sup> )	633	652	△19
	林 野 ( a )	13	34	△21
損害額(千円)	総 額	80,592	27,232	53,360
	建 物	26,632	25,640	992
	林 野	238	440	△202
	車 両	53,068	1,108	51,960
	そ の 他	654	44	610
り 災 世 帯 数	6	8	△2	
り 災 人 員	17	11	6	
死 者	1	1		
負 傷 者	8	3	5	

## 地域別の状況

区 分		総数	朝 来 市					養 父 市				
			小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮
出 火 件 数	総 数	20	10		5		5	10	4	2	3	1
	建 物 火 災	14	6		3		3	8	3	1	3	1
	林 野 火 災	1	1		1							
	車 両 火 災	1	1				1					
	その他の火災	4	2		1		1	2	1	1		
焼 損 棟 数	総 数	17	8		4		4	9	4	1	3	1
	全 焼	5	3		2		1	2	1		1	
	半 焼	1	1				1					
	部 分 焼	4	1				1	3	1	1	1	
	ぼ や	7	3		2		1	4	2		1	1
焼損 面積	建 物(m <sup>2</sup> )	633	317		64		253	316	228	28	60	
	林 野(a)	13	13		13							
損 害 額 (千 円)		80,592	65,116		915		64,201	15,476	11,859	451	3,062	104
り 災 世 帯 数		6	2		1		1	4	2		2	
り 災 人 員		17	5		1		4	12	8		4	
死 者		1						1	1			
負 傷 者		8						8	6	2		

## 地域別・火災種別出火件数

(件)



# 救 急

平成 29 年中の救急件数は 3,144 件、搬送人員は 2,854 人で、前年(3,123 件、2,888 人)と比較すると件数で 21 件の増加、人員で 34 人の減少となっています。

事故種別でみると、急病が 1,833 件で最も多く、次いで一般負傷 544 件、転院搬送 315 件、交通事故 217 件と続いています。

朝来市内の救急件数は 1,615 件、養父市内の救急件数は 1,525 件、管外が 4 件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野 223 件、和田山 871 件、山東 233 件、朝来 288 件となっており、養父市内は、八鹿 635 件、養父 402 件、大屋 239 件、関宮 249 件となっています。



## 救急の状況

区 分	平成 29 年		平成 28 年		比較増減
	件 数	比率 (%)	件 数	比率 (%)	
総 数	3,144	100	3,123	100	21
火 災	9	0.2	2	0.1	7
自然災害	1	0.1			1
水難事故	8	0.2	1	0.1	7
交通事故	217	6.9	265	8.5	△ 48
労働災害	40	1.3	28	0.9	12
運動競技	21	0.7	33	1.0	△ 12
一般負傷	544	17.3	491	15.7	53
加 害	3	0.1	10	0.3	△ 7
自損行為	13	0.4	22	0.7	△ 9
急 病	1,833	58.3	1,866	59.7	△ 33
転院搬送	315	10.0	305	9.8	10
そ の 他	140	4.5	100	3.2	40

※その他とは、上記以外のもの。(例) 医師搬送など。

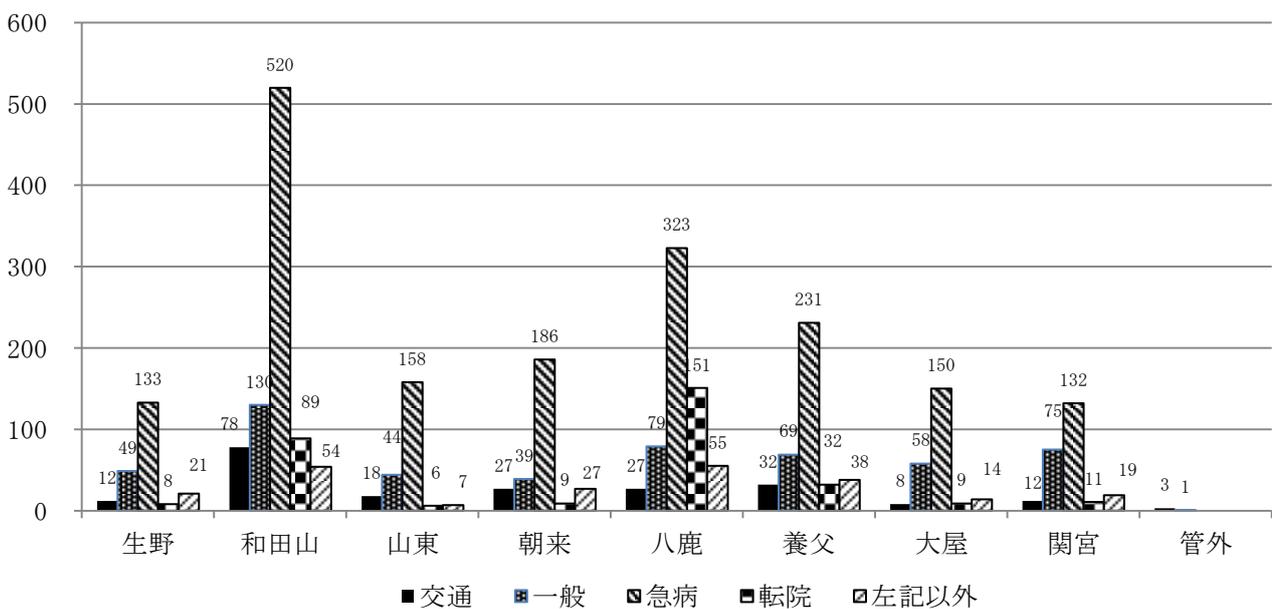
地域別の状況

(単位：件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	3,144	1,615	223	871	233	288	1,525	635	402	239	249	4
火 災	9						9	7	2			
自然災害	1						1	1				
水難事故	8	7	4	2		1	1		1			
交通事故	217	135	12	78	18	27	79	27	32	8	12	3
労働災害	40	20	3	12	2	3	20	5	6	8	1	
運動競技	21	9	2	7			12	6	1	2	3	
一般負傷	544	262	49	130	44	39	281	79	69	58	75	1
加 害	3	2		1		1	1				1	
自損行為	13	6	2	2		2	7	5		1	1	
急 病	1,833	997	133	520	158	186	836	323	231	150	132	
転院搬送	315	112	8	89	6	9	203	151	32	9	11	
そ の 他	140	65	10	30	5	20	75	31	28	3	13	

地域別・事故種別発生状況

(件)



# 救 助

平成 29 年中の救助件数は 67 件で、前年(59 件)と比較すると 8 件の増加となっています。

事故種別でみると、交通事故が 36 件、水難事故が 6 件、建物等による事故が 2 件、その他の事故が 23 件となっています。

地域別の出動状況をみると、朝来市内は生野 3 件、和田山 18 件、山東 4 件、朝来 7 件、養父市内は八鹿 6 件、養父 12 件、大屋 4 件、関宮 12 件となっています。また、管外出動は 1 件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は 40 件で、44 人を救助しました。



## 救助の状況

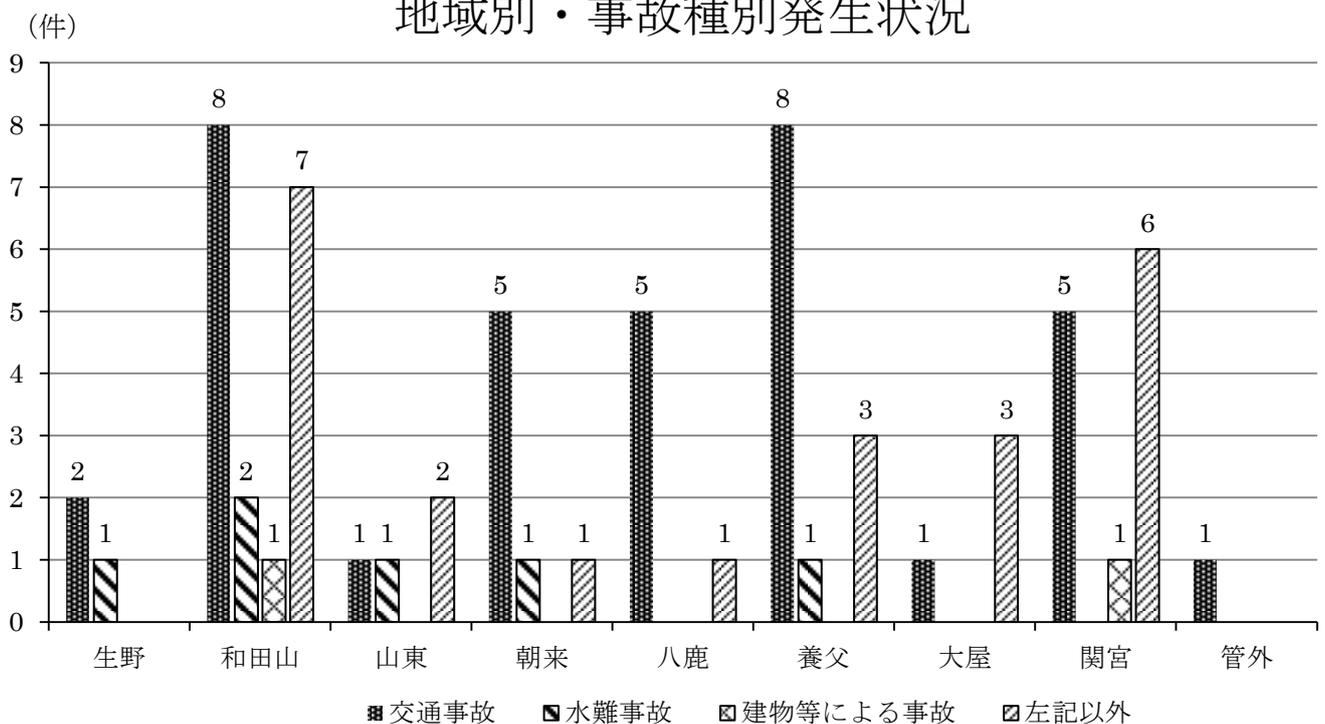
区 分	平成 29 年	平成 28 年	比較増減
	件 数	件 数	
総 数	67	59	8
火 災			
交 通 事 故	36	29	7
水 難 事 故	6	1	5
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故		3	△ 3
建 物 等 に よ る 事 故	2	2	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	23	24	△ 1

地域別の状況

(単位：件)

区分	総数	朝来市					養父市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総数	67	32	3	18	4	7	34	6	12	4	12	1
火災												
交通事故	36	16	2	8	1	5	19	5	8	1	5	1
水難事故	6	5	1	2	1	1	1		1			
自然災害												
機械による事故												
建物等による事故	2	1		1			1				1	
ガス及び酸欠事故												
破裂事故												
その他の事故	23	10		7	2	1	13	1	3	3	6	
救助活動件数	40	22	1	13	2	6	18	2	8	3	5	
救助人員	44	24	1	15	2	6	20	3	9	3	5	

地域別・事故種別発生状況



# 通 信

平成 29 年中の 119 番受信件数は 3,598 件で、その内訳は緊急通報が 2,836 件、緊急外通報が 762 件となっています。

前年と比較すると、緊急通報で 6 件、緊急外通報で 34 件の減少となっています。

また、携帯電話からの 119 番通報は 1,194 件で、前年と比較すると 5 件の増加となっています。



## 通信の状況

区 分	平成 28 年	うち、携帯電話	平成 29 年	うち、携帯電話	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
総 数	3,638	1,189	3,598	1,194	333	300	325	215	279	278	332	302	271	320	342	301	
緊急通報	火災通報	21	13	15	11	3	1	1	2	2	1	1	2	1	1		
	救急通報	2,576	821	2,591	838	257	229	225	152	208	199	229	224	199	211	233	225
	病院紹介	59	40	65	34	6	1	5	2	5	5	11	10	9	3	3	5
	台風関連第2報等	146	89	127	69	11	16	10	13	9	6	14	12	9	14	6	7
	ガス漏検索誤報等	40	8	38	12	1	1	3	2		3	4		1	7	9	7
	計	2,842	971	2,836	964	278	248	244	171	224	214	258	247	220	236	252	244
緊急外通報	通報訓練	327	18	305	20	13	19	29	15	20	26	31	25	15	32	48	32
	間違い	90	47	94	46	3	8	8	6	8	9	17	8	9	3	8	7
	いたずら	3	2	4	2				1		2					1	
	問合せ	74	38	83	35	9	8	9	6	4	4	8	5	9	7	7	7
	その他	302	113	276	127	30	17	35	16	23	23	18	17	18	42	26	11
	計	796	218	762	230	55	52	81	44	55	64	74	55	51	84	90	57

# 統計資料編

# 管 理 編

## 平成 29 年度予算状況

(単位：千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額	現計予算額	比率 (%)
歳 入	総 計	1,004,346	△ 2,843	1,001,503	100.0
	分 担 金	860,981	7,257	868,238	86.7
	使用料・手数料	801	0	801	0.1
	国 県 支 出 金	0	0	0	0.0
	繰 入 金	0	0	0	0.0
	繰 越 金	0	0	0	0.0
	地 方 債	141,100	△ 10,100	131,000	13.1
	諸 収 入 他	1,464	0	1,464	0.1
歳 出	総 計	1,004,346	△ 2,843	1,001,503	100.0
	人 件 費	756,438	△ 200	756,238	75.6
	物 件 費	73,210	△ 113	73,097	7.3
	建 設 事 業 費	163,033	△ 4,643	158,390	15.8
	維 持 補 修 費	4,352	2,049	6,401	0.6
	補 助 費 等	7,313	64	7,377	0.7
	公 債 費	0	0	0	0.0

## 平成 29 年度職員給与費の実態

職員給与

(単位：千円)

職員数 (A)	平成 29 年度給与費				一人当たりの 給与費(B)/(A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
95	336,892	109,140	133,487	579,519	6,100

初任給の状況 (高校卒)

	消 防 職	一般行政職	国
初任給	1 級 8 号給	1 級 5 号給	1 級 5 号俸
金額	149,400 円	146,100 円	146,100 円

## 階級別勤続年数

(H30.3.31現在)

階級 勤続年数	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	95	1	25	33	11	6	19
1 年 未 満	2						2
1 年 ～ 5 年	24				1	6	17
6 年 ～ 10 年	10			2	8		
11 年 ～ 15 年	8		1	6	1		
16 年 ～ 20 年	9			9			
21 年 ～ 25 年	14			14			
26 年 ～ 30 年	8		6	2			
31 年 ～ 35 年	4		4				
3 6 年 以 上	16	1	14		1		

## 年齢別職員構成

(H30.3.31現在)

階級 年齢区分	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	95	1	25	33	11	6	19
2 0 歳 以 下	1						1
21 歳 ～ 25 歳	17					1	16
26 歳 ～ 30 歳	14				7	5	2
31 歳 ～ 35 歳	9			6	3		
36 歳 ～ 40 歳	8			8			
41 歳 ～ 45 歳	16			16			
46 歳 ～ 50 歳	5		2	3			
51 歳 ～ 55 歳	9		9				
5 6 歳 以 上	16	1	14		1		

## 研修派遣状況

(単位：人)

階 級 研修科目	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	24		2	10	3	3	6
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	21		1	8	3	3	6
初 任 教 育	2						2
特 殊 災 害 科	1			1			
予 防 査 察 科	1					1	
火 災 調 査 科	1			1			
救 急 科	1						1
救 助 科	1				1		
災 害 現 場 指 揮 科	1			1			
初 級 幹 部 科	1			1			
救 急 救 命 士 養 成 課 程	1				1		
指 導 救 命 士 養 成 研 修	1			1			
救 急 救 命 士 追 加 講 習 ( ビ デ オ 喉 頭 鏡 追 加 講 習 )	4			1	1	1	1
救 急 救 命 士 追 加 講 習 ( 拡 大 二 行 為 追 加 講 習 )	1					1	
通 信 担 当 者 研 修	2		1				1
ポ ン プ 操 法 研 修	2			2			
山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	1						1
《 国 立 登 山 研 修 所 》	1			1			
山 岳 遭 難 救 助 研 修	1			1			
《 兵 庫 県 自 治 研 修 所 》	2		1	1			
管 理 職 研 修	1		1				
監 督 職 研 修	1			1			

## 階級別資格取得状況

(H30.3.31 現在)

階 級		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
資 格								
運 転 免 許	大 型	76		21	30	9	6	10
	普 通	95	1	25	33	11	6	19
危険物取扱者 (甲種)		4		3	1			
危険物取扱者 (乙種)		78	1	23	30	8	5	11
危険物取扱者 (丙種)		15		10	5			
消防設備士 (乙種)		16		11	3	1		1
特 殊 無 線 乙		95	1	25	33	11	6	19
救 急 救 命 士 資 格		37	1	12	19	1	2	2
気 管 挿 管 認 定		30	1	9	18	1	1	
薬 剤 投 与 認 定		33	1	9	19	1	2	1
救急隊員資格 (Ⅱ課程)		42	1	24	16	1		
救急隊員資格 (標準課程)		53		1	17	10	6	19
応 急 手 当 指 導 員		95	1	25	33	11	6	19
救助隊員資格 (1号)		42		8	26	7		1
小 型 船 舶 操 縦 士		15		2	12		1	
玉 掛 技 能 者		39		3	18	7	4	7
移 動 式 ク レ ー ン		39		3	18	7	4	7
安 全 衛 生 推 進 者		3		3				
予 防 技 術 資 格 者		10		6	4			

## 平成 28 年度一般会計決算の概要

(歳入)

(単位：千円)

科 目	予算現額 (A)	収入済額 (B)	比較 (B - A)
歳 入 合 計	944,891	945,227	336
分担金及び負担金	836,598	819,380	△ 17,218
使用料・手数料	801	847	46
地 方 債	95,900	95,900	0
繰越費及び繰越事業費 繰 越 額		16,676	16,676
諸 収 入	11,592	12,424	832

(歳出)

科 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	比較 (A - B)
歳 出 合 計	944,891	939,965	4,926
常 備 消 防 費	831,839	827,160	4,679
消 防 施 設 費	113,052	112,805	247

歳 入 総 額	945,227 千円
歳 出 総 額	939,965 千円
歳入歳出差引残額	5,262 千円

## 消防相互応援協定等の締結状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

締結年月日	内 容
平成 25 年 4 月 1 日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成 25 年 4 月 1 日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 27 年 2 月 15 日	朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成 27 年 2 月 15 日	養父市及び養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)
平成 29 年 1 月 13 日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成 29 年 3 月 25 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、豊岡市と北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山インターチェンジから日高神鍋高原インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(新規)

# 予 防 編

予  
防  
編

# 防火対象物の概要 (地域別・中高層建物)

(H30.3.31現在)

用途別	防火対象物										3階以上対象物								
	総数	朝来市				養父市					総数	朝来市				養父市			
		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮	生野		和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮	
総数	3,095	216	915	271	225	626	338	243	261	393	28	122	25	13	110	25	8	62	
1	イ 映画館等	2	1	1						2	1	1							
	ロ 集会場等	189	9	38	23	20	31	20	20	28		4		1	1	1			
2	イ キャバレー等																		
	ロ 遊技場等	3		2			1												
	ニ カラオケボックス等																		
3	イ 料理店等																		
	ロ 飲食店等	71	2	27	6	1	9	16	4	6	4		1	1		2			
4	店舗等	145	6	72	11	14	18	17	1	6	6		4			2			
5	イ 旅館・ホテル等	125	5	12	11	7	9	4	6	71	52		8	1		1	1	1	40
	ロ 共同住宅等	331	27	149	31	18	55	35	6	10	86	8	27	10	1	27	8		5
6	イ 病院等	43	2	16	2	5	12	5		1	8		2		4	2			
	ロ グループホーム等	40	3	6	6	7	4	4	8	2	4		1		1	1			1
	ハ デイサービス・保育所	96	7	24	11	11	19	12	9	3	2				1		1		
	ニ 幼稚園等	6		5		1					2		2						
7	学校等	107	18	17	7	6	44	7	4	4	38	6	11	2	1	11	2	2	3
8	図書館等	17	6	3	1	2		1	4		1		1						
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公衆浴場等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	95	12	9	3	2	20	24	11	14	1	1							
12	イ 工場等	499	40	160	48	40	97	56	34	24	24	6	4	1	1	6	3		3
	ロ 映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ 駐車場等	44	1	12	4	6	11	3	2	5									
14	倉庫	269	24	93	29	17	59	23	11	13	9	1	1	2		5			
15	その他の事業所	711	41	167	56	51	154	78	111	53	69	3	24	5	1	19	7	4	6
16	イ 複合用途(特定)	160	2	58	9	6	48	17	8	12	46	1	19	2	1	19	1	1	2
	ロ 複合用途(非特定)	105	6	41	6	4	25	14	3	6	30	1	11	1	1	13	1		2
17	文化財建造物	25	3	1	6	6	7	1		1	1				1				

# 防火対象物の概要 (査察件数・防火管理者・消防計画)

(H30.3.31現在)

用途別		査察件数			防火管理者									消防計画					
					対象数			選任数			選任率(%)			計画届出数			届出率(%)		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市
総数		751	389	362	794	391	403	711	348	363	90	89	90	680	339	341	86	87	85
1	イ映画館等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ集会場等	30	19	11	176	83	93	116	52	64	66	63	69	111	51	60	63	61	65
2	イキャバレー等																		
	ロ遊技場等	3	2	1	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
	ニカラオケボックス等																		
3	イ料理店等																		
	ロ飲食店等	21	12	9	58	27	31	55	25	30	95	93	97	50	24	26	86	89	84
4	店舗等	65	53	12	90	59	31	87	57	30	97	97	97	85	55	30	94	93	97
5	イ旅館・ホテル等	179	74	105	90	20	70	90	20	70	100	100	100	89	19	70	99	95	100
	ロ共同住宅等	7	7		16	10	6	15	10	5	94	100	83	15	10	5	94	100	83
6	イ病院等	32	10	22	15	11	4	15	11	4	100	100	100	15	11	4	100	100	100
	ログループホーム等	48	22	26	25	14	11	24	14	10	96	100	91	24	14	10	96	100	91
	ハデイサービス・保育所	46	21	25	62	30	32	57	28	29	92	93	91	57	28	29	92	93	91
	ニ幼稚園等	5	5		1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
7	学校等	12	8	4	35	18	17	35	18	17	100	100	100	35	18	17	100	100	100
8	図書館等	7	3	4	11	8	3	10	8	2	91	100	67	10	8	2	91	100	67
9	イサウナ風呂等																		
	ロ公衆浴場等	3		3	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場	1		1															
11	神社・寺院等	12	9	3	4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
12	イ工場等	83	34	49	31	23	8	30	22	8	97	96	100	28	22	6	90	96	75
	ロ映画スタジオ等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ駐車場等	6	3	3															
14	倉庫	19	15	4	2	1	1	2	1	1	100	100	100	2	1	1	100	100	100
15	その他の事業所	118	56	62	81	37	44	78	35	43	96	95	98	72	32	40	89	86	91
16	イ複合用途(特定)	34	21	13	76	36	40	71	33	38	93	92	95	64	33	31	84	92	78
	ロ複合用途(非特定)	5	1	4	7	4	3	7	4	3	100	100	100	5	3	2	71	75	67
17	文化財建造物	13	12	1	3	1	2	3	1	2	100	100	100	2	1	1	67	100	50

## 確認申請処理状況

(H30.3.31現在)

種 別	総 数	朝来市		養父市		同 意	朝来市		養父市		指導による 同意	朝来市		養父市	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市		朝来市	養父市	不同意	朝来市		養父市			
総 数	46	25	21	16	9	7	30	16	14						
《工 事 別》															
新 築	35	21	14	16	9	7	19	12	7						
増 築	8	3	5				8	3	5						
改 築															
移 転															
修 繕															
模 様 替															
用 途 変 更	3	1	2				3	1	2						
《構 造 別》															
耐 火 構 造	1		1				1		1						
準耐火構造	10	5	5	2	1	1	8	4	4						
そ の 他	35	20	15	14	8	6	21	12	9						

## 消防教室実施状況

(H30.3.31現在)

実 施 区 分	対 象 数			参 加 人 員			時 間			消 防 職 員			
	総数	朝来	養父	総数	朝来	養父	全体	朝来	養父	総数	朝来	養父	
総 数	260	140	120	12,339	6,765	5,574	305:32	154:47	150:45	690	385	305	
地 区	42	27	15	1,804	1,154	650	45:45	29:15	16:30	72	46	26	
婦 人 ク ラ ブ	3	1	2	28	15	13	5:15	1:30	3:45	6	2	4	
老 人 ク ラ ブ	3	1	2	241	170	71	2:55	0:25	2:30	6	3	3	
P T A	18	9	9	656	305	351	25:05	10:05	15:00	40	17	23	
学 校	55	27	28	4,489	2,227	2,262	74:45	34:35	40:10	178	99	79	
幼・保育所	39	29	10	1,803	1,263	540	45:20	33:30	11:50	146	100	46	
事 業 所	公 共 施 設	15	6	9	272	123	149	20:30	8:00	12:30	29	12	17
	病 院・福 祉 施 設	49	25	24	1,828	1,074	754	38:37	22:22	16:15	122	72	50
	旅 館・ホ テ ル	8	3	5	96	26	70	10:10	3:10	7:00	17	7	10
	店 舗 等	4	4		183	183		2:40	2:40		10	10	
	工 場 等	13	5	8	336	179	157	14:00	4:55	9:05	25	12	13
消 防 団	1		1	155		155	3:00		3:00	8		8	
そ の 他	10	3	7	448	46	402	17:30	4:20	13:10	31	5	26	

※ 普通救命講習会は含まない。(57頁参照)

## 危険物施設数及び立入検査回数

(H30.3.31現在)

危険物施設	総数	朝来市					養父市					立入検査回数		
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	朝来署	養父署	
総数	322	159	38	67	35	19	163	64	24	13	62	123	125	
製造所	3	2	2				1		1			2	1	
貯蔵所	屋内貯蔵所	32	19	8	1	8	2	13	8	2	2	1	3	1
	屋外タンク貯蔵所	36	28	10	8	7	3	8	3			5	5	2
	屋内タンク貯蔵所	16	6	3	2	1		10	7	1		2	2	4
	地下タンク貯蔵所	100	33	4	20	6	3	67	16	8	3	40	34	56
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1							1	
	移動タンク貯蔵所	19	10	1	3	3	3	9	5		1	3	13	9
	屋外貯蔵所	4	4	2	2								4	
取扱所	給油取扱所	51	24	2	13	5	4	27	14	6	3	4	26	29
	一般取扱所	60	32	6	18	4	4	28	11	6	4	7	33	23

## 危険物施設設置許可数及び変更許可の状況

(H30.3.31現在)

危険物施設	総数	変更許可										設置許可	
		構造に関するもの		付属機器に関するもの		配管に関するもの		タンクに関するもの		その他		朝来市	養父市
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市		
総数	37			14	11	4	1		3		1	2	1
製造所	2				2								
屋内貯蔵所													
屋外タンク貯蔵所	1					1							
屋内タンク貯蔵所	3					3							
地下タンク貯蔵所	4			1	1				2				
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所													
屋外貯蔵所													
給油取扱所	11			5	2				1		1	1	1
一般取扱所	16			8	6		1					1	

## 市別・数量別危険物施設数

(H30.3.31現在)

危険物施設	総 数	5倍以下		5倍を超え 10倍以下		10倍を超え 50倍以下		50倍を超え 100倍以下		100倍を超え 200倍以下		200倍を超 えるもの	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	322	72	49	33	41	30	52	7	9	10	8	7	4
製造所	3					1		1	1				
貯蔵所	208	55	34	22	34	20	36	2	3	2			
屋内貯蔵所	32	11	5	5	4	2	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	36	7	2	6		12	6	2		1			
屋内タンク貯蔵所	16	3	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	100	21	14	8	24	4	28		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	19	10	9										
屋外貯蔵所	4	2				2							
取扱所	111	17	15	11	7	9	16	4	5	8	8	7	4
給油取扱所(営業用)	34		1					3	4	8	7	7	4
給油取扱所(自家用)	17	3			2	3	9						
一般取扱所	60	14	14	11	5	6	7	1	1		1		

## 市別・類別危険物施設数

(H30.3.31現在)

危険物施設	総 数	1類		2類		3類		4類		5類		6類		混在	
		朝来市	養父市												
総数	322				1			157	159	1	1			1	2
製造所	3							2							1
貯蔵所	208				1			100	105		1			1	
屋内貯蔵所	32				1			18	11		1			1	
屋外タンク貯蔵所	36							28	8						
屋内タンク貯蔵所	16							6	10						
地下タンク貯蔵所	100							33	67						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	19							10	9						
屋外貯蔵所	4							4							
取扱所	111							55	54	1					1
給油取扱所(営業用)	34							18	16						
給油取扱所(自家用)	17							6	11						
一般取扱所	60							31	27	1					1

# 各種届出等受理状況

(H30.3.31現在)

届 出 別		総 数	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任（解任）届出書		111	67	44
消防計画届出書		165	98	67
消防用設備等着工届出書		84	40	44
消防用設備等工事計画届出書		40	27	13
消防用設備等設置届出書		207	128	79
消防用設備等緩和願		9	8	1
消防用設備等点検結果報告書		551	294	257
防火対象物定期点検結果報告書		49	22	27
防火自主点検結果報告書		1		1
防火対象物使用開始届出書		79	48	31
火を使用する 設 備 等 の 設 置 届 出 書	熱風炉			
	炉・かまど	1		1
	ボイラー・給湯湯沸設備	13	5	8
	乾燥設備	13	9	4
	サウナ設備			
	温風暖房機	4		4
電 気 設 備 設 置 届 出 書	変電設備	17	14	3
	発電設備	4	1	3
	蓄電池設備	8	2	6
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		10	10	
総 数		1,366	773	593

# 警 防 編

警  
防  
編

# 火 災

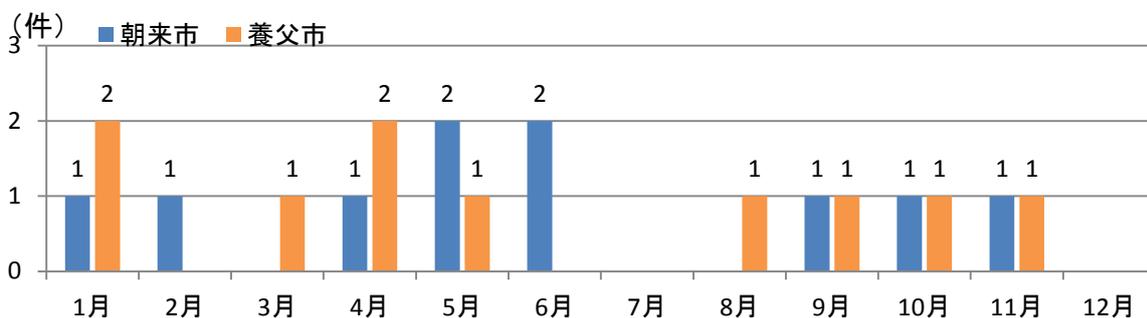
## 年次別火災発生状況

区分		年別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
出 火 件 数	総 数		36	32	31	29	20
	朝 来 市	小 計	23	19	18	19	10
		建 物 火 災	7	10	9	6	6
		林 野 火 災	3	1	1	1	1
		車 両 火 災	2		1	2	1
		その他の火災	11	8	7	10	2
	養 父 市	小 計	13	13	13	10	10
		建 物 火 災	4	4	8	3	8
		林 野 火 災	2			1	
		車 両 火 災	2	2	1	1	
その他の火災		5	7	4	5	2	
焼 損 棟 数	総 数		14	23	26	10	17
	朝 来 市	小 計	9	11	10	7	8
		全 焼	4	3	3	3	3
		半 焼	1	1			1
		部 分 焼		5	5	2	1
		ぼ や	4	2	2	2	3
	養 父 市	小 計	5	12	16	3	9
		全 焼	2	9	8		2
		半 焼	1		1		
		部 分 焼	2		4		3
ぼ や			3	3	3	4	
焼 損 面 積	総 数	建物【㎡】	967	1,466	5,824	652	633
		林野( a )	33	34	3	34	13
	朝 来 市	建物【㎡】	595	423	4,001	652	317
		林野( a )	26	34	3	10	13
	養 父 市	建物【㎡】	372	1,043	1,823		316
		林野( a )	7			24	

区分		年別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
り 災 世 帯	総 数		4	9	12	8	6
	朝 来 市	小 計	3	6	2	5	2
		全 損	2	1	1	2	1
		半 損					
		小 損	1	5	1	3	1
	養 父 市	小 計	1	3	10	3	4
		全 損		1	3		1
		半 損	1				
		小 損		2	7	3	3
	り 災 人 員	総 数		7	20	32	11
朝 来 市		5	12	4	7	5	
養 父 市		2	8	28	4	12	
損 害 額 (千円)	総 額		38,753	59,814	440,766	27,232	80,592
	朝 来 市	小 計	34,957	12,445	403,435	25,851	65,116
		建 物	33,621	11,212	401,050	25,612	11,156
		林 野	556	453			238
		車 両	190	2	2,384	238	53,068
		そ の 他	590	778	1	1	654
	養 父 市	小 計	3,796	47,369	37,331	1,381	15,476
		建 物	3,404	46,318	37,079	28	15,476
		林 野	30			440	
		車 両	273	1,046	250	870	
そ の 他		89	5	2	43		
死 傷 者	総 数	死 者		1	4	1	1
		負 傷 者	4	5	7	3	8
	朝 来 市	死 者		1		1	
		負 傷 者	3	2	4	2	
	養 父 市	死 者			4		1
		負 傷 者	1	3	3	1	8

## 月別火災発生状況

種別	月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		20	3	1	1	3	3	2		1	2	2	2	
朝来市	小計	10	1	1		1	2	2			1	1	1	
	建物火災	6	1	1		1		1			1		1	
	林野火災	1					1							
	車両火災	1										1		
	その他の火災	2					1	1						
養父市	小計	10	2		1	2	1			1	1	1	1	
	建物火災	8	2		1	2					1	1	1	
	林野火災													
	車両火災													
	その他の火災	2					1			1				

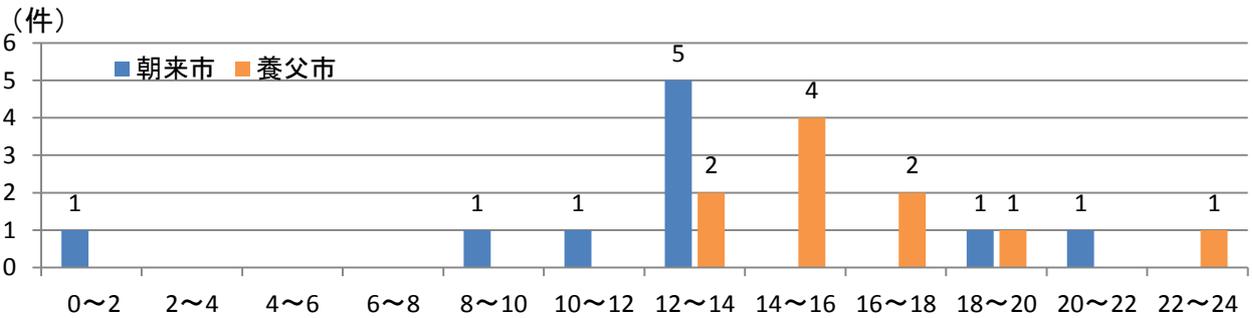


## 曜日別火災発生状況

種別	曜日別	総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		20	4	2	6	6		2	
朝来市	小計	10	3	1	4	1		1	
	建物火災	6	2		3	1			
	林野火災	1		1					
	車両火災	1						1	
	その他の火災	2	1		1				
養父市	小計	10	1	1	2	5		1	
	建物火災	8	1		2	4		1	
	林野火災								
	車両火災								
	その他の火災	2		1		1			

## 時間別火災発生状況

種別	時間別	総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総数		20	1				1	1	7	4	2	2	1	1
朝来市	小計	10	1				1	1	5			1	1	
	建物火災	6					1	1	2			1	1	
	林野火災	1							1					
	車両火災	1	1											
	その他の火災	2							2					
養父市	小計	10							2	4	2	1		1
	建物火災	8							2	3	2			1
	林野火災													
	車両火災													
	その他の火災	2								1		1		



## 使用した消防水利

消防水利	平成29年					平成28年
	総数	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	
総数	11	8	1	1	1	19
自然水利	3	2			1	5
防火水槽	1	1				1
消火栓	6	5	1			8
積載水等	1			1		5

(事後聞知5件及び、放水なしの4件は除く)

## 覚知から現場到着までの所要時間

地区別	時間別	総 数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	平均(分)
総 数		15		5	6	2	2	13.5
朝 来 市	小 計	8		4	2	1	1	13
	生 野							
	和田山	4		3			1	13.3
	山 東							
	朝 来	4		1	2	1		12.8
養 父 市	小 計	7		1	4	1	1	14
	八 鹿	4		1	2		1	13.5
	養 父	2			1	1		16.5
	大 屋	1			1			11
	関 宮							

(事後聞知5件除く)

## 放水開始から鎮火までの所要時間

地区別	時間別	総 数	5分以内	6分～10分	11分～20分	21分～30分	31分～40分	41分～50分	51分～60分	61分以上	平均(分)
総 数		11	1		3	3	2		1	1	28.5
朝 来 市	小 計	6			1	2	2		1		31
	生 野										
	和田山	4			1	2	1				24.8
	山 東										
	朝 来	2					1		1		43.5
養 父 市	小 計	5	1		2	1				1	25.6
	八 鹿	3	1			1				1	34
	養 父	1			1						11
	大 屋	1			1						15
	関 宮										

(事後聞知5件及び、放水なしの4件は除く)

# 出 火 原 因

区 分		平成 2 9 年					平成 2 8 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		20	14	1	1	4	29	9	2	3	15
裸 火	た ば こ										
	虫 焼 火						1				1
	焼 却 火	3	2	1			10		1		9
	マ ッ チ						1			1	
	消えていない薪						1	1			
人 的	火 あ そ び	1	1								
	放火(放火の疑い)	2	1			1	1				1
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ	2	2								
	風 呂 か ま ど						1	1			
	石 油 機 器	1	1								
	ガ ス 機 器	1				1					
	こ ん ろ						2	2			
電 気 関 係	ス ト ー ブ						1	1			
	炉	1	1								
	制 御 盤										
	配 線 等										
車 両	ブ レ ー キ										
	エ ン ジ ン										
	排 気 管										
	そ の 他	1			1		1			1	
そ の 他	金属と金属の衝撃火花										
	列車ブレーキの火花						2				2
	化 学 反 応	1	1								
	焼 却 炉	1	1				1	1			
	自 作 の 炉	1	1								
	不 明	4	2			2	6	2	1	1	2
	そ の 他	1	1				1	1			

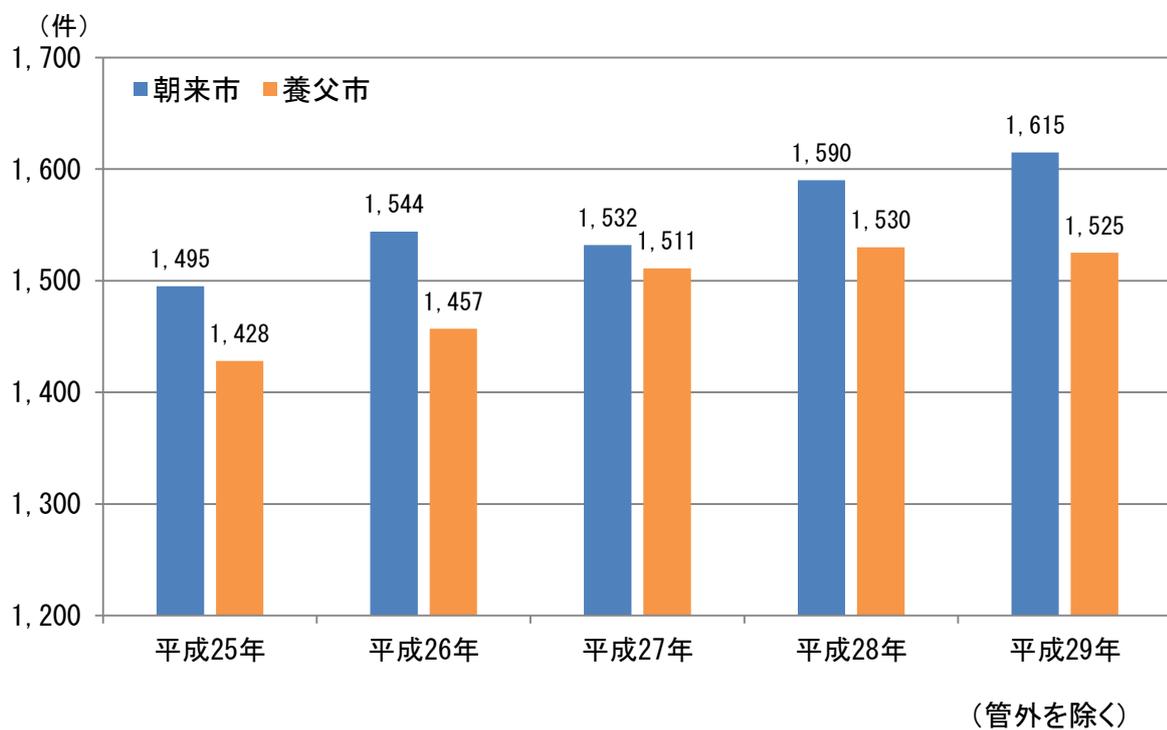
## 用途別火災発生状況

用途別 区分		火災発生件数 (件)	焼損面積		損害額 (千円)	焼損棟数 (棟)	死傷者	
			建物				死者 (人)	負傷者 (人)
			床面積 (㎡)	表面積 (㎡)				
総数		20	633	24	80,592	17	1	8
建築物火災	住宅	5	475	23	22,297	7		5
	遊技場							
	飲食店							
	店舗							
	旅館・ホテル							
	病院・福祉施設							
	学校							
	神社・寺院							
	工場・作業場	4	61	1	3,222	4		1
	倉庫	5	97		1,113	6		
	車庫							
	養鶏舎・養畜舎							
	事務所・官公署							
	その他							
林野火災		1			238			
車両火災		1			53,068			
その他の火災	田畑	1					1	
	空地							
	公園	1						2
	河川敷	1						
	その他	1			654			

# 救 急

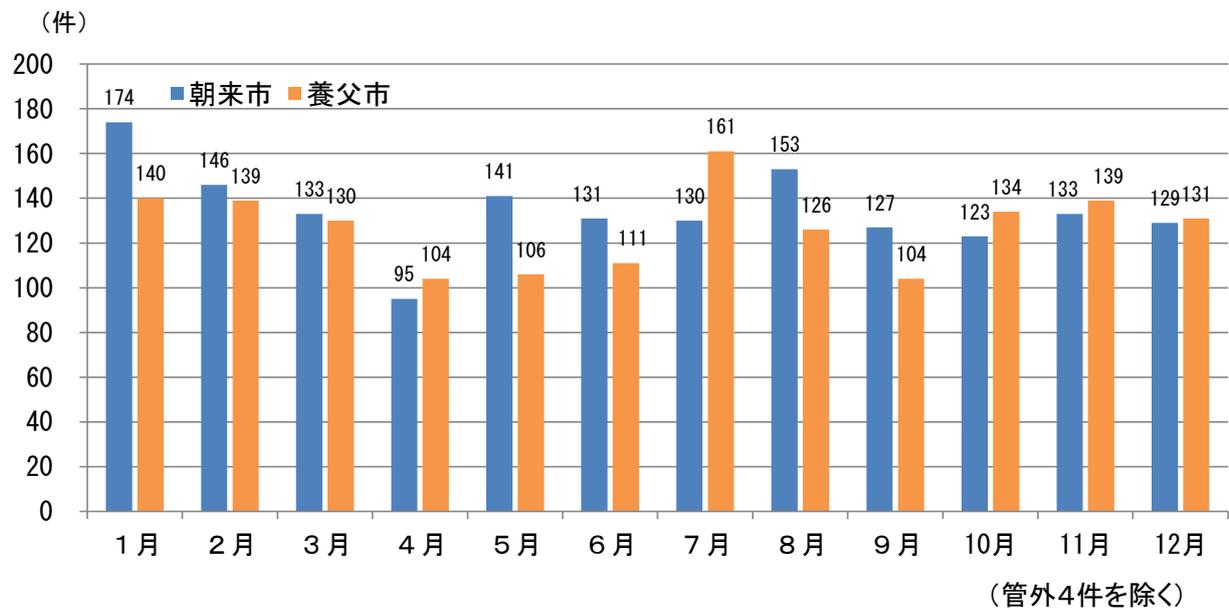
## 年次別救急発生状況

種別		年別				
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総 数		2,929	3,006	3,046	3,123	3,144
朝 来 市	小 計	1,495	1,544	1,532	1,590	1,615
	交通事故	179	155	155	140	135
	一般負傷	219	235	262	250	262
	急 病	909	970	898	997	997
	転院搬送	109	94	136	102	112
	そ の 他	79	90	81	101	109
養 父 市	小 計	1,428	1,457	1,511	1,530	1,525
	交通事故	111	121	110	122	79
	一般負傷	206	271	240	241	281
	急 病	795	793	845	869	836
	転院搬送	208	167	204	203	203
	そ の 他	108	105	112	95	126
管 外		6	5	3	3	4



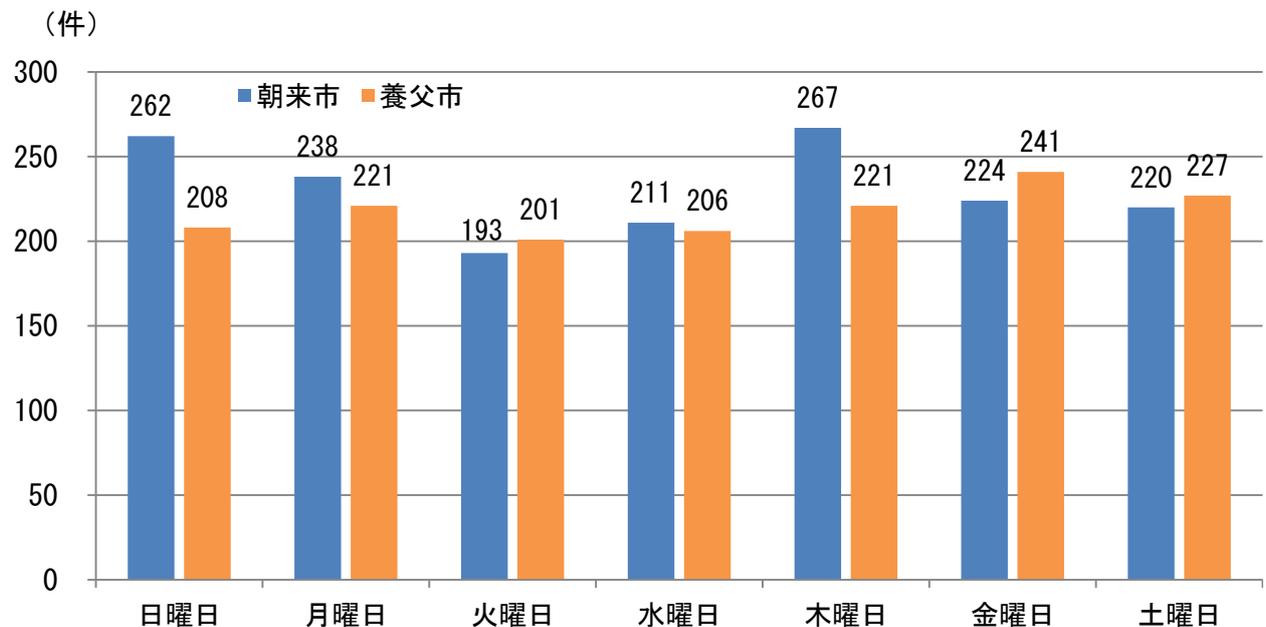
## 月別救急発生状況

種別		月別												
		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		3,144	314	285	265	200	248	242	291	279	231	257	272	260
朝来市	小計	1,615	174	146	133	95	141	131	130	153	127	123	133	129
	交通事故	135	11	11	8	10	16	14	10	12	6	10	17	10
	一般負傷	262	28	16	19	14	25	13	21	23	22	30	23	28
	急病	997	118	100	88	49	84	80	76	94	80	72	77	79
	転院搬送	112	12	7	10	8	6	17	11	10	8	6	8	9
	その他	109	5	12	8	14	10	7	12	14	11	5	8	3
養父市	小計	1,525	140	139	130	104	106	111	161	126	104	134	139	131
	交通事故	79	8	3		4	7	7	16	8	3	11	9	3
	一般負傷	281	32	32	29	17	13	15	23	20	25	26	30	19
	急病	836	72	71	65	53	64	67	90	72	59	75	69	79
	転院搬送	203	16	22	20	20	16	12	12	11	14	16	21	23
	その他	126	12	11	16	10	6	10	20	15	3	6	10	7
管外	小計	4			2	1	1							



## 曜日別救急発生状況

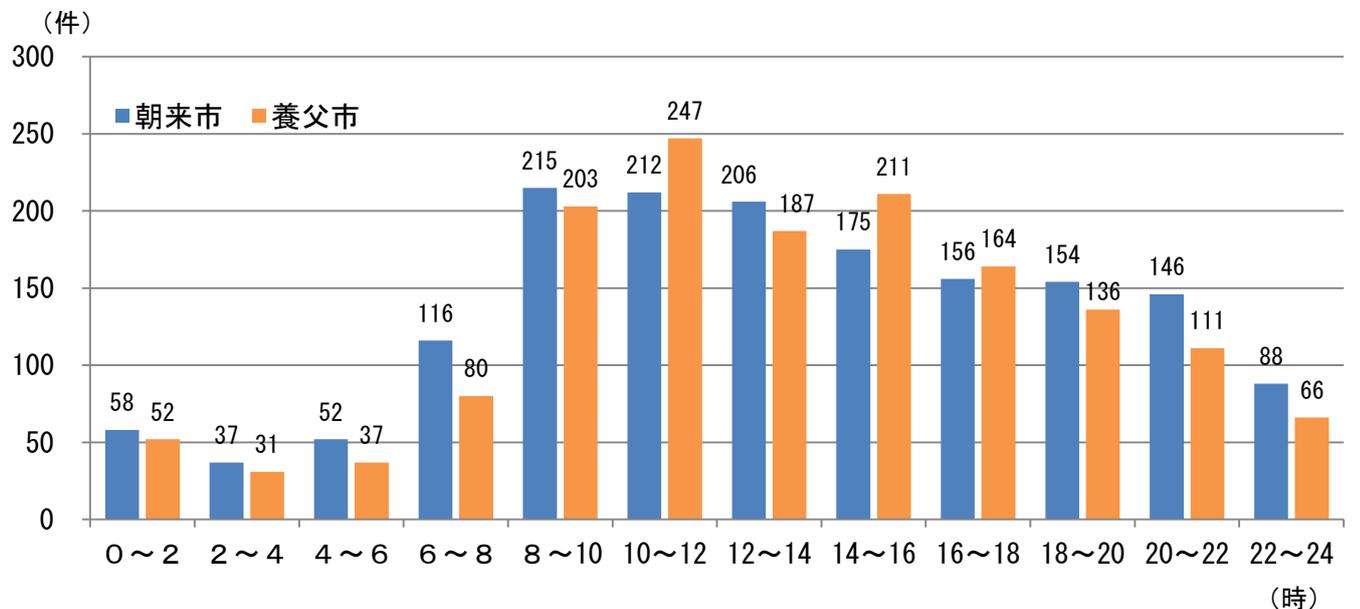
種別		曜日別							
		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		3,144	470	459	394	417	488	466	450
朝来市	小計	1,615	262	238	193	211	267	224	220
	交通事故	135	23	17	7	15	27	31	15
	一般負傷	262	43	38	33	33	39	37	39
	急病	997	171	140	128	132	171	121	134
	転院搬送	112	5	29	18	18	17	11	14
	その他	109	20	14	7	13	13	24	18
養父市	小計	1,525	208	221	201	206	221	241	227
	交通事故	79	6	10	10	14	13	8	18
	一般負傷	281	53	33	37	32	42	32	52
	急病	836	119	126	105	112	116	143	115
	転院搬送	203	13	29	31	30	37	35	28
	その他	126	17	23	18	18	13	23	14
管外	小計	4						1	3



(管外4件を除く)

## 時間別救急発生状況

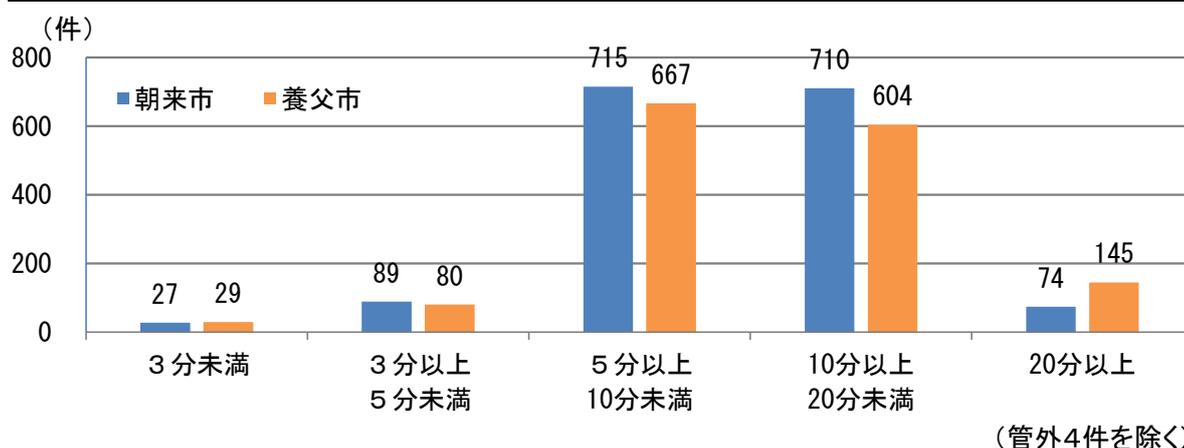
種別	時間別	総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
	総数		0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総数		3,144	110	68	89	196	418	460	393	386	320	293	257	154
朝来市	小計	1,615	58	37	52	116	215	212	206	175	156	154	146	88
	交通事故	135	1	1	1	14	26	26	11	21	8	16	6	4
	一般負傷	262	5	5	9	15	33	33	40	33	33	18	24	14
	急病	997	51	30	42	80	129	101	114	84	83	108	110	65
	転院搬送	112				2	10	32	21	16	17	8	2	4
	その他	109	1	1		5	17	20	20	21	15	4	4	1
養父市	小計	1,525	52	31	37	80	203	247	187	211	164	136	111	66
	交通事故	79		1	1	7	10	13	7	19	7	7	4	3
	一般負傷	281	6	5	3	14	35	54	30	38	41	30	15	10
	急病	836	39	22	33	53	116	103	97	96	71	82	77	47
	転院搬送	203	7	1		5	25	51	32	26	28	12	11	5
	その他	126		2		1	17	26	21	32	17	5	4	1
管外	小計	4						1				3		



(管外4件を除く)

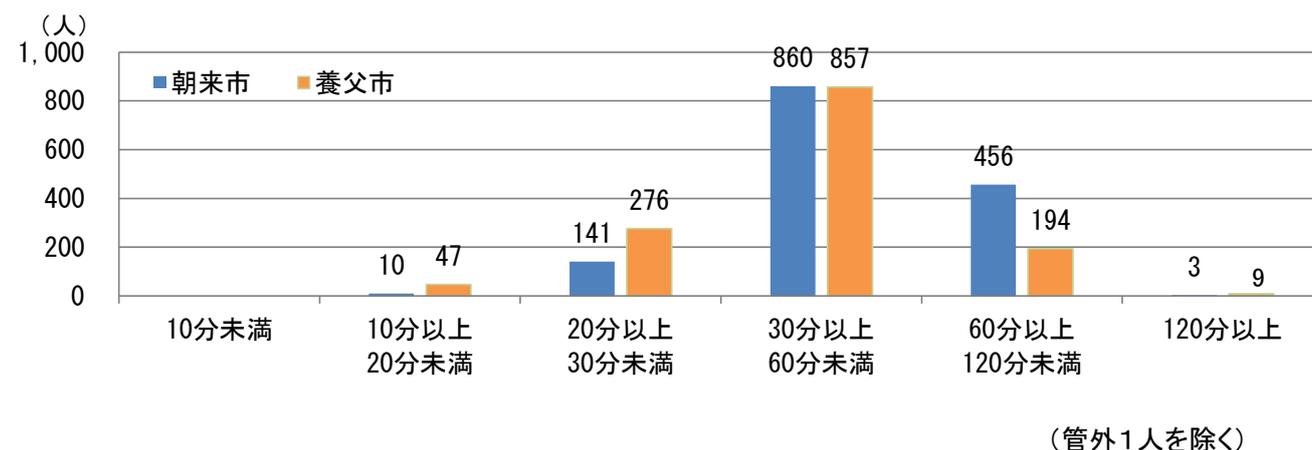
## 覚知から現場到着までの所要時間状況

市別 \ 時間	総数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着 平均所要 時間(分)
総数	3,144	56	169	1,382	1,316	221	10.5
朝来市	1,615	27	89	715	710	74	10.0
養父市	1,525	29	80	667	604	145	11.0
管外	4				2	2	21.3



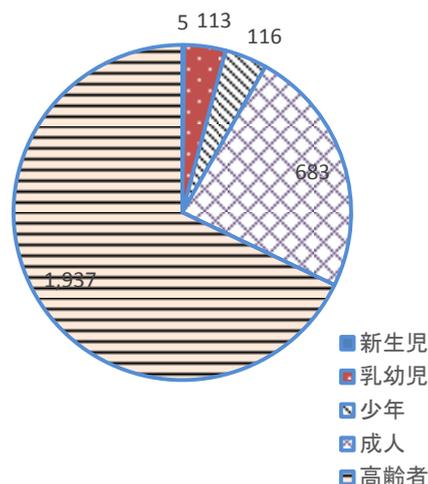
## 覚知から医療機関収容までの所要時間状況

市別 \ 時間	総数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容 平均所要 時間(分)
総数	2,854		57	417	1,718	650	12	47.7
朝来市	1,470		10	141	860	456	3	51.9
養父市	1,383		47	276	857	194	9	43.3
管外	1				1			30.0



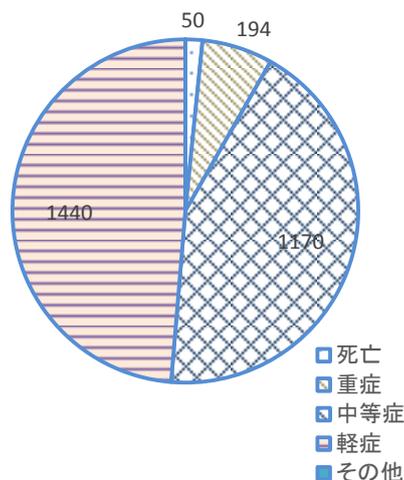
## 年齢区分別搬送人員

区分 種別	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
総数	2,854	5	113	116	683	1,937
交通事故	194		6	8	120	60
一般負傷	515		28	30	90	367
急病	1,743	1	70	49	359	1,264
転院搬送	315	4	8	8	67	228
その他	87		1	21	47	18



## 傷病程度別搬送人員

区分 種別	総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総数	2,854	50	194	1,170	1,440	
交通事故	194	1	11	50	132	
一般負傷	515	7	36	191	281	
急病	1,743	38	125	659	921	
転院搬送	315		16	242	57	
その他	87	4	6	28	49	



※ 死亡・・・初診時、死亡と診断されたもの  
 重症・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの  
 中等症・・・入院を必要とするもので重症に至らないもの  
 軽症・・・入院加療を必要としないもの  
 その他・・・医師の診断のないもの

## ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況

種別 月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,696	151	163	143	83	156	122	151	160	142	133	149	143
交通事故	105	7	9	4	8	13	6	14	11	5	13	11	4
一般負傷	146	14	15	10	8	13	7	13	16	9	16	15	10
急病	1,333	121	130	119	56	119	98	117	122	119	100	109	123
転院搬送	56	4	6	2	4	9	8	1	3	5	2	7	5
その他	56	5	3	8	7	2	3	6	8	4	2	7	1

## 事故種別・収容医療機関状況

医療機関		種別	総数	比率(%)	交通事故	一般負傷	急病	転院搬送	その他
総数			2,854	100	194	515	1,743	315	87
管内	小計		1,259	44.2	90	328	743	67	31
	病院	八鹿病院	1,050	36.8	68	245	650	62	25
		朝来医療センター	202	7.1	22	83	87	4	6
		その他の病院	2	0.1			2		
	診療所等		5	0.2			4	1	
	その他								
管外	小計		1,595	55.8	104	187	1000	248	56
	病院	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)	1,405	49.2	93	146	897	219	50
		神崎総合病院	109	3.8	4	32	64	4	5
		その他の病院	81	2.8	7	9	39	25	1
	診療所等								

## 地域別・収容医療機関状況

医療機関		市別	総数	朝来市	比率(%)	養父市	比率(%)	管外
総数			2,854	1,470	100	1,383	100	1
朝来市内医療機関	小計		207	185	12.5	22	1.6	
	朝来医療センター		202	183	12.4	19	1.4	
	その他の病院		1			1	0.1	
	診療所等		4	2	0.1	2	0.1	
	その他							
養父市内医療機関	小計		1,052	374	25.5	677	49.0	1
	八鹿病院		1,050	372	25.3	677	49.0	1
	その他の病院		1	1	0.1			
	診療所等		1	1	0.1			
	その他							
管外	小計		1,595	911	62.0	684	49.4	
	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)		1,405	738	50.2	667	48.2	
	神崎総合病院		109	109	7.4			
	その他の病院		81	64	4.4	17	1.2	
	診療所等							

## 救急隊の行った応急処置状況

処置種別	固定	酸素吸入	心肺蘇生	血圧測定	血中酸素	心電図	除細動	静脈路確保	薬剤投与	器具による気道確保	その他
総数	368	792	57	2,703	2,752	2,558	9	74	18	61	5,449
交通事故	148	50	1	179	186	136		4	1	2	368
一般負傷	160	72	7	490	497	432		11	2	10	1,015
急病	30	539	44	1,656	1,682	1,650	9	56	13	47	3,486
その他	30	131	5	378	387	340		3	2	2	580

## 普通救命講習実施状況

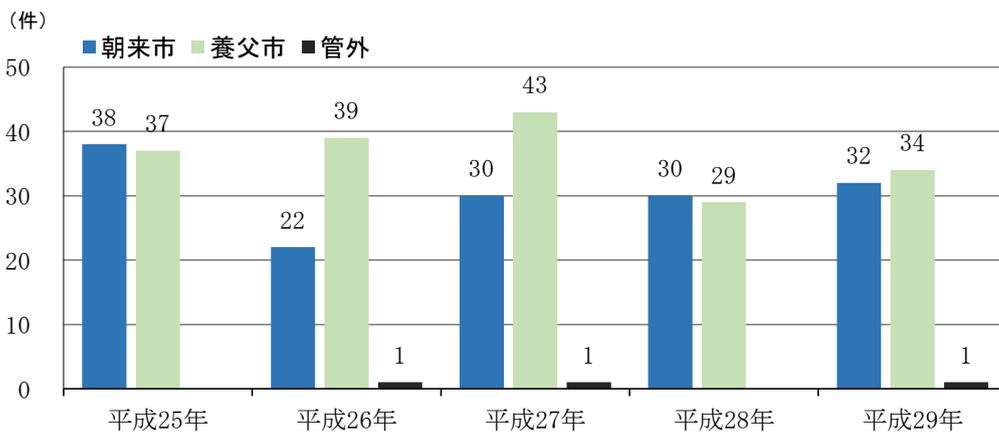
区分	実施回数（回）	受講者数（人）
学校関係	14	278
事業所等	16	165
消防団	8	187
その他	18	197
総数	48	827



# 救 助

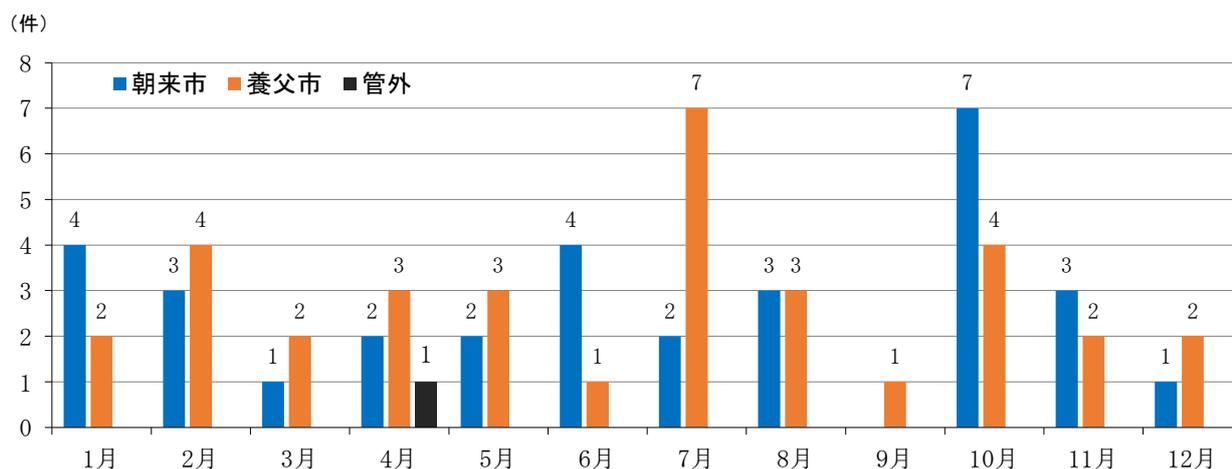
## 年次別救助発生状況

種別	年別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総 数		75	62	74	59	67
朝 来 市	小 計	38	22	30	30	32
	火 災					
	交 通 事 故	28	16	18	15	16
	水 難 事 故	1	2	2		5
	自 然 災 害					
	機械による事故	1		2	2	
	建物等による事故	1			2	1
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	7	4	8	11	10
養 父 市	小 計	37	39	43	29	34
	火 災		1	3		
	交 通 事 故	19	26	23	14	19
	水 難 事 故	1		1	1	1
	自 然 災 害	1				
	機械による事故		2		1	
	建物等による事故			1		1
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	16	10	15	13	13
管 外			1	1		1



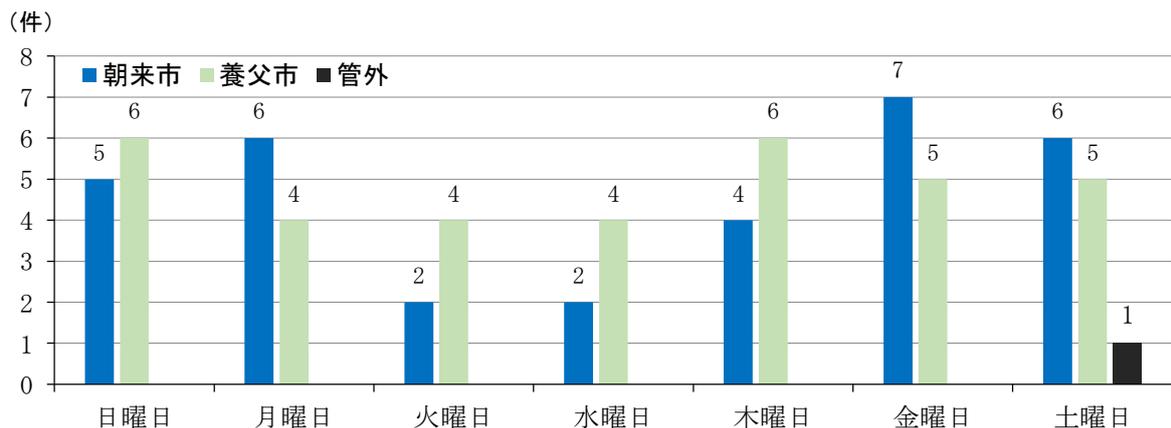
## 月別救助発生状況

種別	月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総	数	67	6	7	3	6	5	5	9	6	1	11	5	3
朝来市	小計	32	4	3	1	2	2	4	2	3		7	3	1
	火災													
	交通事故	16	2	2		1	2	2	2	1		2	2	
	水難事故	5		1				1		2		1		
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故	1	1											
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	10	1		1	1		1				4	1	1
養父市	小計	34	2	4	2	3	3	1	7	3	1	4	2	2
	火災													
	交通事故	19	1	2		1	2		3	3	1	3	2	1
	水難事故	1					1							
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故	1						1						
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	13	1	2	2	2			4			1		1
管外	小計	1				1								



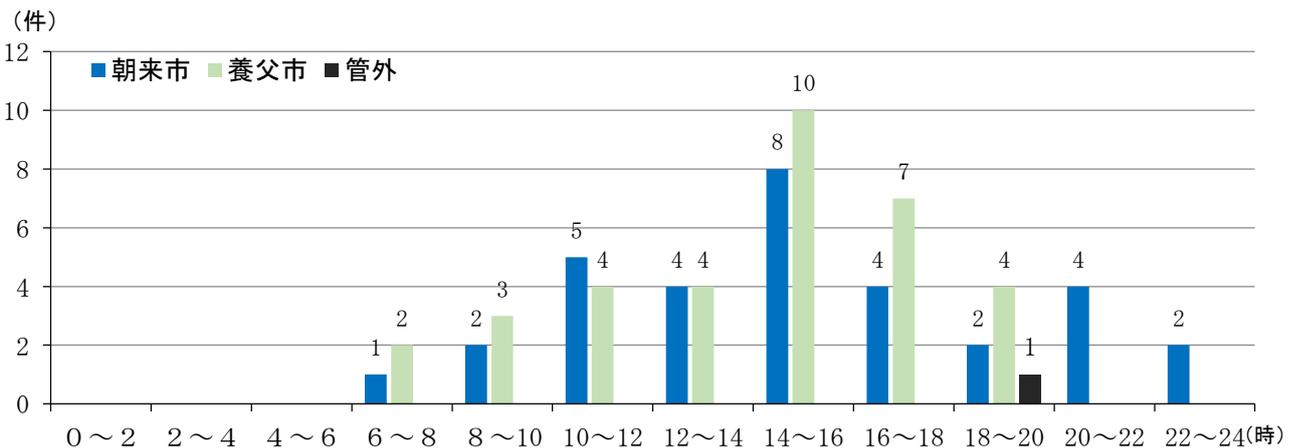
## 曜日別救助発生状況

種別	曜日別	総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		67	11	10	6	6	10	12	12
朝来市	小計	32	5	6	2	2	4	7	6
	火災								
	交通事故	16	3	4		2	3	2	2
	水難事故	5			1		1	2	1
	自然災害								
	機械による事故								
	建物等による事故	1			1				
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	10	2	2				3	3
養父市	小計	34	6	4	4	4	6	5	5
	火災								
	交通事故	19	2	3	3	3	2	2	4
	水難事故	1						1	
	自然災害								
	機械による事故								
	建物等による事故	1					1		
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	13	4	1	1	1	3	2	1
管外	小計	1							1



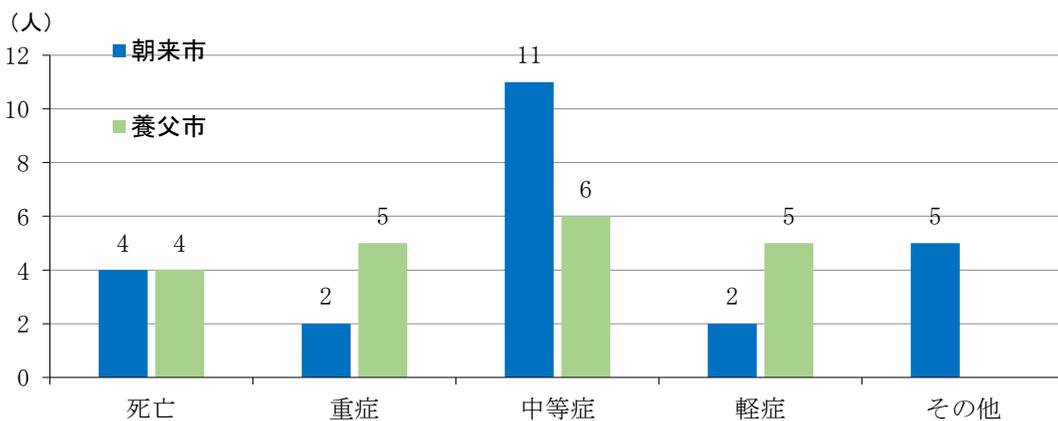
## 時間別救助発生状況

種別	時間別	総数	時間別												
			0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
総	数	67				3	5	9	8	18	11	7	4	2	
朝来市	小計	32				1	2	5	4	8	4	2	4	2	
	火災														
	交通事故	16					2	3	3	3	1	1	2	1	
	水難事故	5								1	1	1		1	
	自然災害														
	機械による事故														
	建物等による事故	1												1	
	ガス及び酸欠事故														
	破裂事故														
	その他	10				1		2		4	2		1		
養父市	小計	34				2	3	4	4	10	7	4			
	火災														
	交通事故	19				2	2	3	1	4	4	3			
	水難事故	1									1				
	自然災害														
	機械による事故														
	建物等による事故	1					1								
	ガス及び酸欠事故														
	破裂事故														
	その他	13							1	3	6	2	1		
管外	小計	1										1			



## 事故種別・傷病程度別状況

種別		傷病程度					救助人員						
		総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他	総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総数		44	8	7	17	7	5						
朝来市	小計	24	4	2	11	2	5						
	火災												
	交通事故	10	2	1	4	1	2						
	水難事故	4	2		2								
	自然災害												
	機械による事故												
	建物等による事故	1			1								
	ガス及び酸欠事故												
	破裂事故												
	その他	9		1	4	1	3						
養父市	小計	20	4	5	6	5							
	火災												
	交通事故	10		4	5	1							
	水難事故	1		1									
	自然災害												
	機械による事故												
	建物等による事故												
	ガス及び酸欠事故												
	破裂事故												
	その他	9	4		1	4							
管外	小計												



# 通 信

## 気象の状況

区 分		年 間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温 (℃)	平均	13.6	2.2	2.8	5.7	13.0	18.3	20.1	26.5 )	26.1 )	20.6	15.8	8.9	3.1
	最高	35.6	14.3	14.1	18.7	28.4	33.6	31.9	35.6 )	35.3 )	30.1	29.1	22.5	14.1
	最低	-8.2	-7.0	-8.2	-3.4	-1.6	5.5	9.9	20.5 )	18.0 )	10.9	5.0	-0.6	-3.8
風速 (m/s)	平均	1.6	1.4 )	1.7 )	1.6	2.2	1.7	1.8	1.5 )	1.7 )	1.6	1.5	1.3	1.4 )
	最大瞬間	27.6 ]	16.1 )	17.6 )	12.4	15.9	16.1	18.3	13.7 ]	14.7 )	18.7	27.6	11.9	15.1 )
降水量 (mm)	降水量	1,789.0	170.0	130.5	92.0	96.5	31.0	117.0	155.5 )	171.0 )	261.5	403.0	72.5	88.5
	最大/日	165.0	36.0	23.5	23.0	44.0	6.5	56.0	52.0 )	75.5 )	165.0	129.5	16.0	26.5
	※1 降水日	149	17	16	14	10	7	9	14 )	12 )	13	16	10	11
雪	最深積雪 (cm)	57	57	38										11
	※2 降雪日	21	13	7										1

※1 日降水量1mm以上の日数 ※2 日降雪量合計3cm以上の日数

値欄の記号の説明

)	統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱います(準正常値)。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。
]	統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています(資料不足値)。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いませんが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上(以下)であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合があります。

以上気象庁ホームページから引用 観測地点：和田山

区 分		年 間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
相対湿度 (%)	平均	78.4	87.3	85.8	76.5	68.9	66.6	69.8	77.2	76.4	79.4	85.0	83.6	84.1
	最高	97.8	97.7	97.6	97.6	97.5	96.6	95.2	95.3	95.0	96.0	97.5	97.7	97.8
	最低	9.6	34.6	33.6	15.8	10.4	9.6	15.4	32.2	26.2	26.6	34.6	14.2	36.0
実効湿度 (%)	平均	78.4	87.6	86.4	76.7	70.4	66.0	68.9	77.1	76.8	79.2	84.5	83.2	84.1
	最高	93.2	92.2	92.8	83.5	79.9	75.3	78.3	83.9	82.7	83.3	90.4	89.7	93.2
	最低	56.7	74.3	79.3	70.0	58.2	56.7	61.4	69.5	68.6	73.4	77.6	76.7	73.6

消防本部観測値

# 装 備

## 消防用機器の配置状況

平成30年4月1日現在

名 称		朝来署	養父署
通	消防緊急通信指令施設 I 型	1	
	119番専用回線（携帯等含）	8回線	
	119番FAX受信装置	1	
信	消防無線陸上移動局/車載	14	11
	消防無線陸上移動局/携帯	28	25
設	フェニックス防災システム	1	
	告知放送設備	1	1
	防災無線設備	1	
	簡易車両動態システム	6	4
備	消防職団員参集メールシステム	1	
消	ホース（65mm）	115	115
	ホース（50mm）	149	166
防	C級可搬式ポンプ	2	1
	D級可搬式ポンプ		1
資	ジェットシューター	27	25
	高発泡器	1	1
機	組立式布水槽	3	3
	C A F S 薬剤		1000
	熱画像直視装置	1	1
救	半自動除細動器	3	3
	患者監視装置	3	3
	パルスオキシメーター	3	3
	喉頭鏡	3	3
急	ビデオ硬性喉頭鏡	2	1
	気管挿管セット	3	3
資	呼吸管理器具	3	3
	自動式心マッサージ器	3	3
機	陰圧式固定具	3	3
	スクープストレッチャー	5	4
	バックボード	9	6
材	在宅療法セット	3	3
	高度救急シミュレーター	2	2
	静脈注射訓練モデル	1	1
	心肺蘇生訓練用人形	9	9
	A E D トレーナー	4	4
	ショートボード	1	2

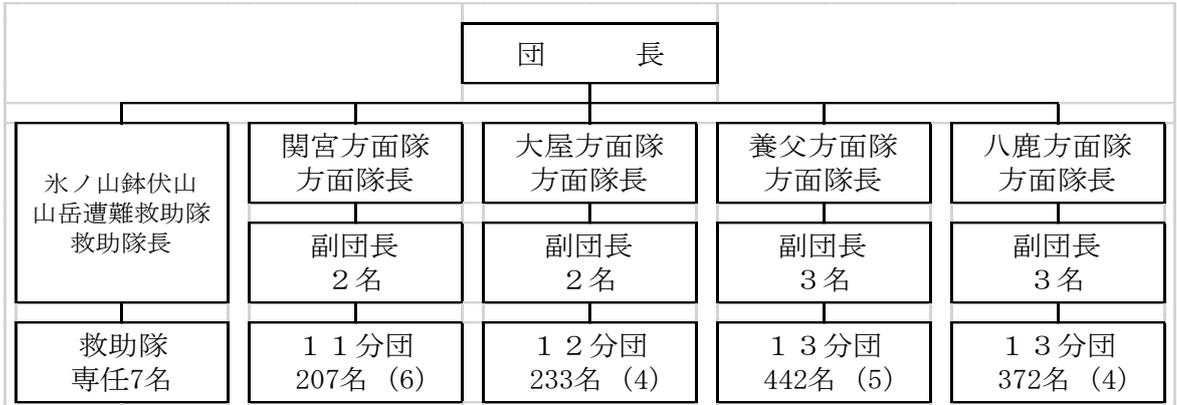
名 称		朝来署	養父署
救	耐熱服	2	2
	空気呼吸器	18	14
	エンジンカッター	3	2
	エアーカッター	1	1
	エッジローラー	2	2
	チルホール	2	2
	チェーンソー	3	2
	ルーカスレスキューツール	1	1
	マット型空気ジャッキ	1	1
	救助マット	1	1
	緩降機	1	1
	送排風機	1	1
	救命索発射銃	1	1
	舟型担架	2	2
助	スケッドストレッチャー	3	2
	ガス溶断機	1	1
	エアーソー	1	1
	グラスソー	2	1
	化学防護服	2	
	防護服	5	6
	防毒マスク	14	14
	マンホール救助器具	1	1
	電動鉄線カッター		1
	ガス測定器	2	2
	車両移動器具	1	1
	削岩機	1	1
	酸素呼吸器		2
	簡易画像探索器	1	1
距離測定器		1	
資	G P S ハンディナビ	2	3
	ハンマードリル	2	1
	セイバーソー	1	1
	エアーテント	2	1
	ウエットスーツ一式	5	6
	救命胴衣	24	42
	救命浮輪	4	5
	救助用ボート	1	1
	船外機	1	1
	材		

# 各種団体

# 消 防 団

平成 30 年 4 月 1 日現在

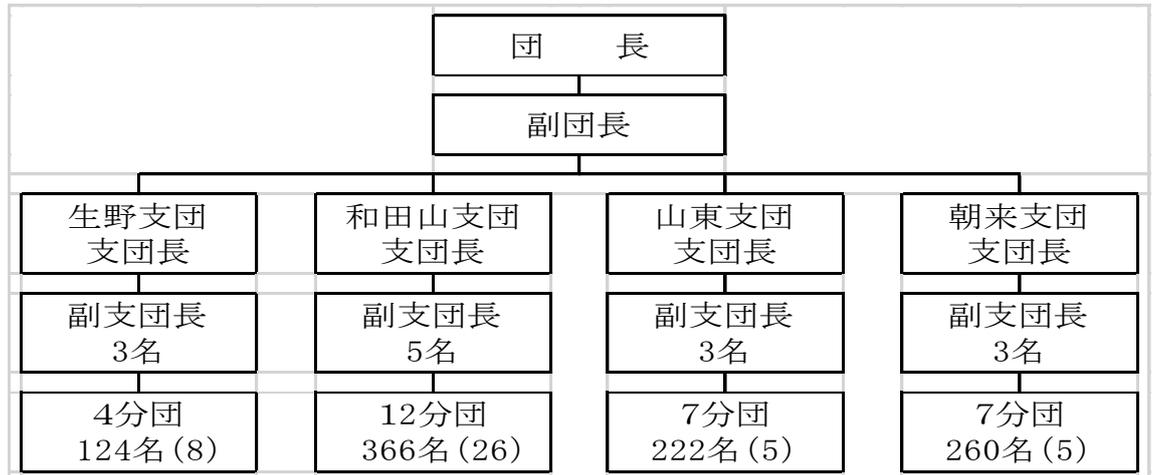
## ●養父市消防団組織図（総員1,277名）



※氷ノ山鉢伏山山岳遭難救助隊は各方面隊との兼任を含む

( ) 内は女性団員

## ●朝来市消防団組織図（総員992名）



( ) 内は女性団員

## ●消防団との連携

消防団は災害時にいかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に消防活動ができるように、消防署との実践的な合同訓練や研修を意欲的に取り組んでいます。

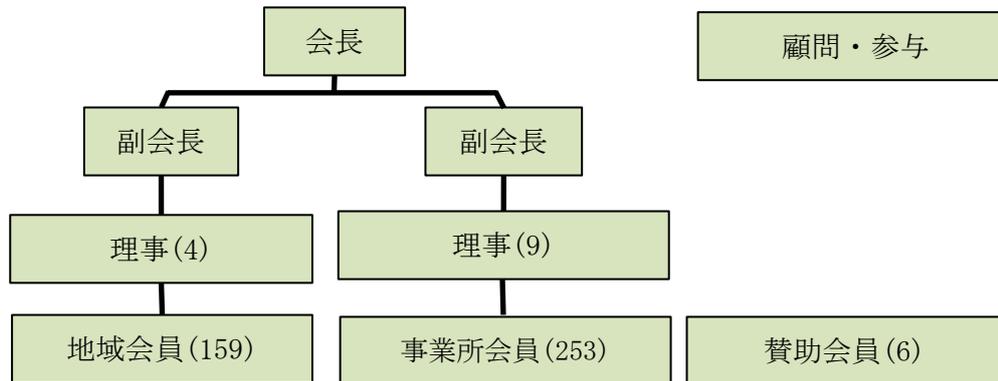
平成 29 年度消防団との合同訓練内容

養父市	11月 12日	養父市密集地火災防ぎょ訓練	養父市広谷
	1月 28日	大屋方面隊との合同消防訓練	大屋町加保
	3月 4日	関宮方面隊との合同消防訓練	養父市三宅
朝来市	8月 3日	生野支団合同訓練	生野町真弓
	11月 5日	山東支団消防合同訓練	山東町一品
	11月 9日	和田山支団夜間消防合同訓練	和田山町高田
	1月 21日	赤淵神社文化財合同消防訓練	和田山町枚田
	2月 25日	生野町密集地火災防ぎょ訓練	生野町口銀谷

# 朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図

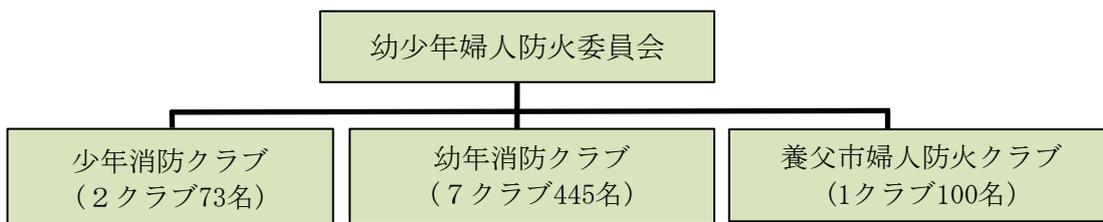
(平成30年4月1日現在)



# 養父市幼少年婦人防火委員会の現況

防火委員会組織図

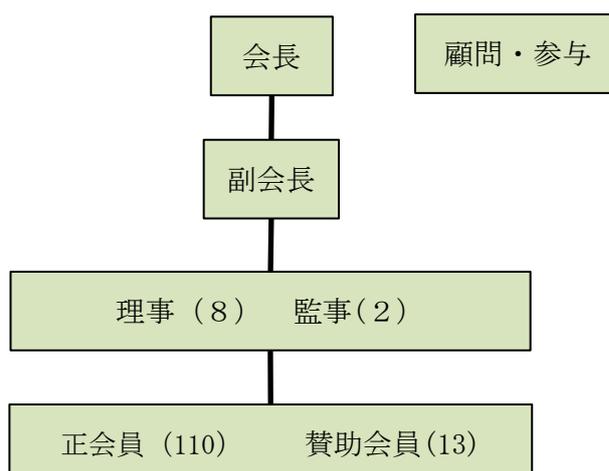
(平成30年4月1日現在)



# 南但危険物安全協会の現況

協会組織図

(平成30年4月1日現在)





神子畑選鉱場跡（朝来市）



明延鉱山探検坑道（養父市）

# 養父市・朝来市の安全をめざして (住宅用火災警報器を設置しましょう)

## 消防年報 第6号

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261 兵庫県朝来市和田山町枚田 436-1

TEL (079) 672-0119

FAX (079) 672-5046

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>

「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。